

参考データ集

**帝国石油 2005年12月期及び2006年3月期
連結決算参考データ**

帝国石油(株)及び連結対象28社

INPEX

TEISEKI

国内事業

帝国石油

帝石パイプライン

帝石プロパンガス

帝石トッピング・プラント

磐城沖石油開発

埼玉ガス

帝石物流

帝石不動産

帝石削井工業

第一倉庫

石油・天然ガス関連事業

その他の事業

海外事業

ベネズエラ石油 (ベネズエラ・生産)

テイコク・ガス・ベネズエラ,C. A. (ベネズエラ・探鉱)

帝石コンゴ石油 (コンゴ・生産販売)

テイコク・オイル・カンパニー・パナマ (原油販売)

帝石エル・オアール石油 (アルジェリア・開発)

エジプト石油開発 (エジプト・生産販売)

テイコク・オイル(ノース・アメリカ)CO.,LTD.(アメリカ・探鉱)

帝石コンソン石油 (ベトナム・探鉱)

テイコク・オイル・エクアドル (エクアドル・生産販売)**

帝石スエズSOB (エジプト・探鉱)

帝石ナイルNQR (エジプト・探鉱)

テイコク・オイル・リビア UK LTD (リビア・探鉱)

持分法

オハネットオイルアンドガス (アルジェリア・生産)

※ その他の海外事業会社 4社
(現地操業会社2社・その他2社)

※ プロジェクト終結により解散予定 2社
(帝石アルジェリア石油/帝石スエズSEJ)

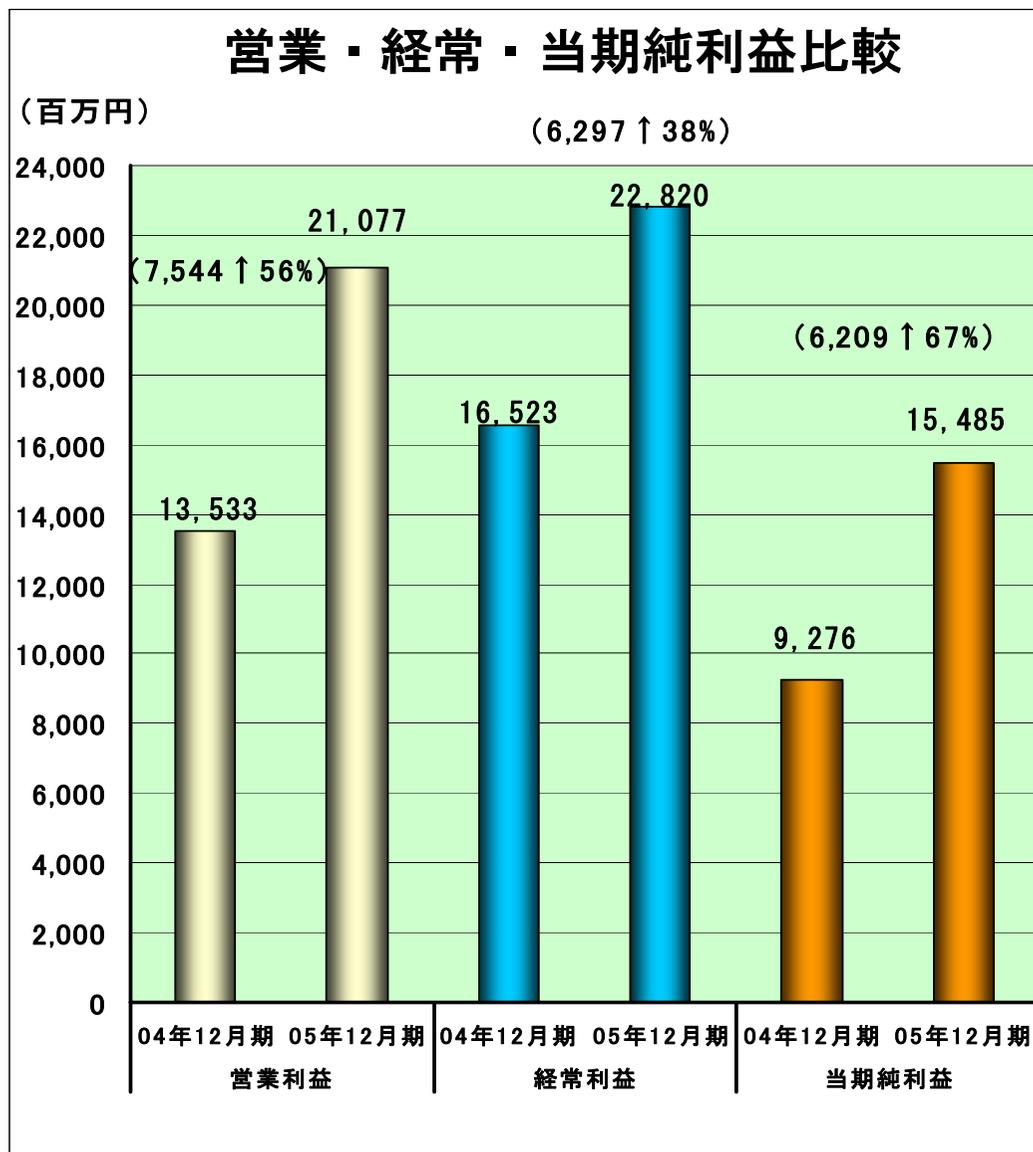
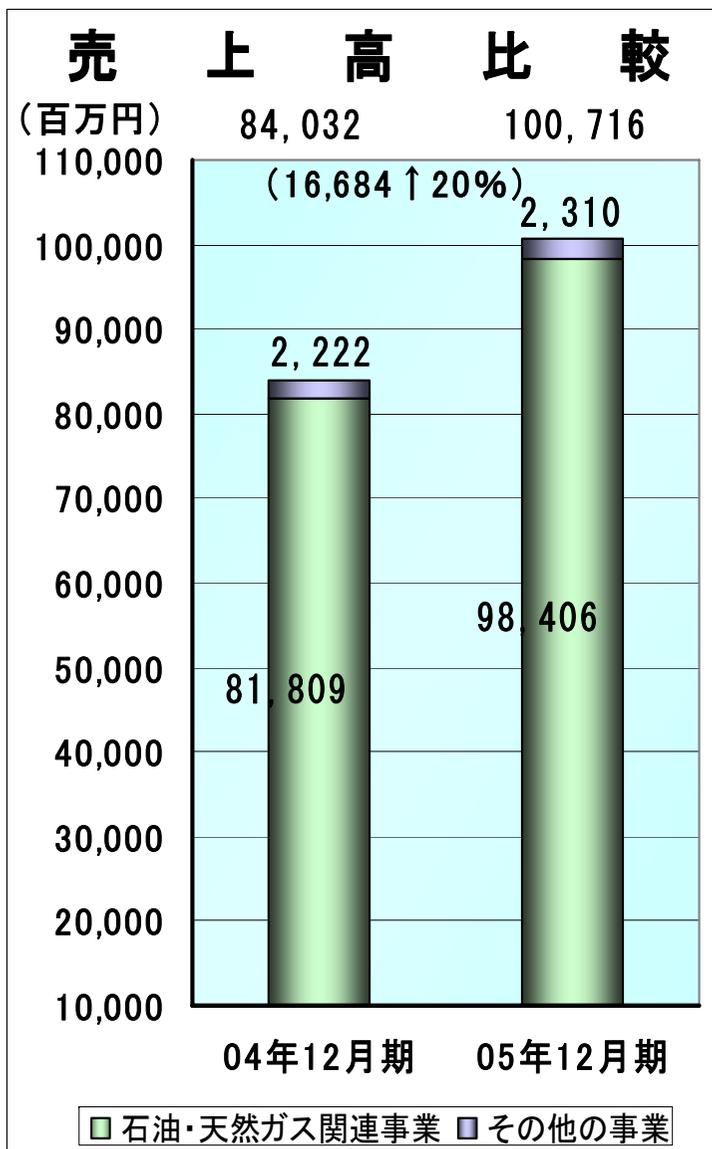
** 権益移転に係る政府承認手続中であり、当該契約は政府承認を得た後、正式に発効する予定であります。

※ 2005年6月にサンビ・ゲル石油はベネズエラ石油と合併

※ 赤字:2005年度新規連結会社

決算概要(対前期)

海外の事業基盤拡大及び原油価格の上昇による**増収増益**



製品別売上高(対前期)

INPEX

TEISEKI

(百万円)

	04年12月期	05年12月期	比較増減	対04年比
天然ガス	34,534	38,004	3,470	10%
LPG	1,957	2,280	323	17%
原油	10,219	17,702	7,483	73%
石油製品	33,372	38,365	4,993	15%
ヨード	704	818	114	16%
その他の石油・天然ガス	1,021	1,234	213	21%
石油・天然ガス関連事業	81,809	98,406	16,597	20%
その他の事業	2,222	2,310	88	4%
合計	84,032	100,716	16,684	20%

天然ガス販売(対前期)

INPEX

TEISEKI

- ・**帝石 増収**：工業用中心に供給拡大、数量差 24億円、単価差 △8億円
- ・**ベネズエラ事業**が連結対象に加わる 21億円

	04年12月期	05年12月期	(百万円) 比較増減
売上高	34,534	38,004	3,470
(帝石・磐城沖)	(34,534)	(35,928)	(1,394)
(ベネズエラ事業)		(2,075)	(2,075)

※(帝石) 1m³当り 43.12MJ (10,300kcal)

	04年12月期	05年12月期	(百万m ³) 比較増減
帝国石油	847	913	66
磐城沖石油開発	95	91	△4
ベネズエラ事業		682	682
販売量	942	1,685	743

原油販売(対前期)

- ・**コンゴ事業 増収**：数量(船積み2回)減、原油価格が上昇
- ・**ベネズエラ事業**が連結対象に、**エジプト**通期寄与へ

	04年12月期	05年12月期	比較増減
販売量(千bbl)	2,847	3,779	932
売上高(百万円)	10,219	17,702	7,483

(単位／数量：千bbl、金額：百万円、単価：\$/bbl)

(主要な内訳)		04年12月期	05年12月期	比較増減	差異金額(億円)
帝石コンゴ石油	数量	2,426	1,724	△ 702	数量差 △ 26
	金額	9,003	9,762	759	単価差 30
	単価	35.62	51.36	15.74	為替差 4
エジプト石油開発	数量	352	726	374	数量差 10
	金額	941	2,378	1,437	単価差 3
	単価	24.74	29.35	4.61	為替差 1
ベネズエラ事業	数量		1,267	1,267	
	金額		5,246	5,246	
	単価		35.64	35.64	

石油製品販売(対前期)

INPEX

TEISEKI

・増収：油価上昇及び販売量増加

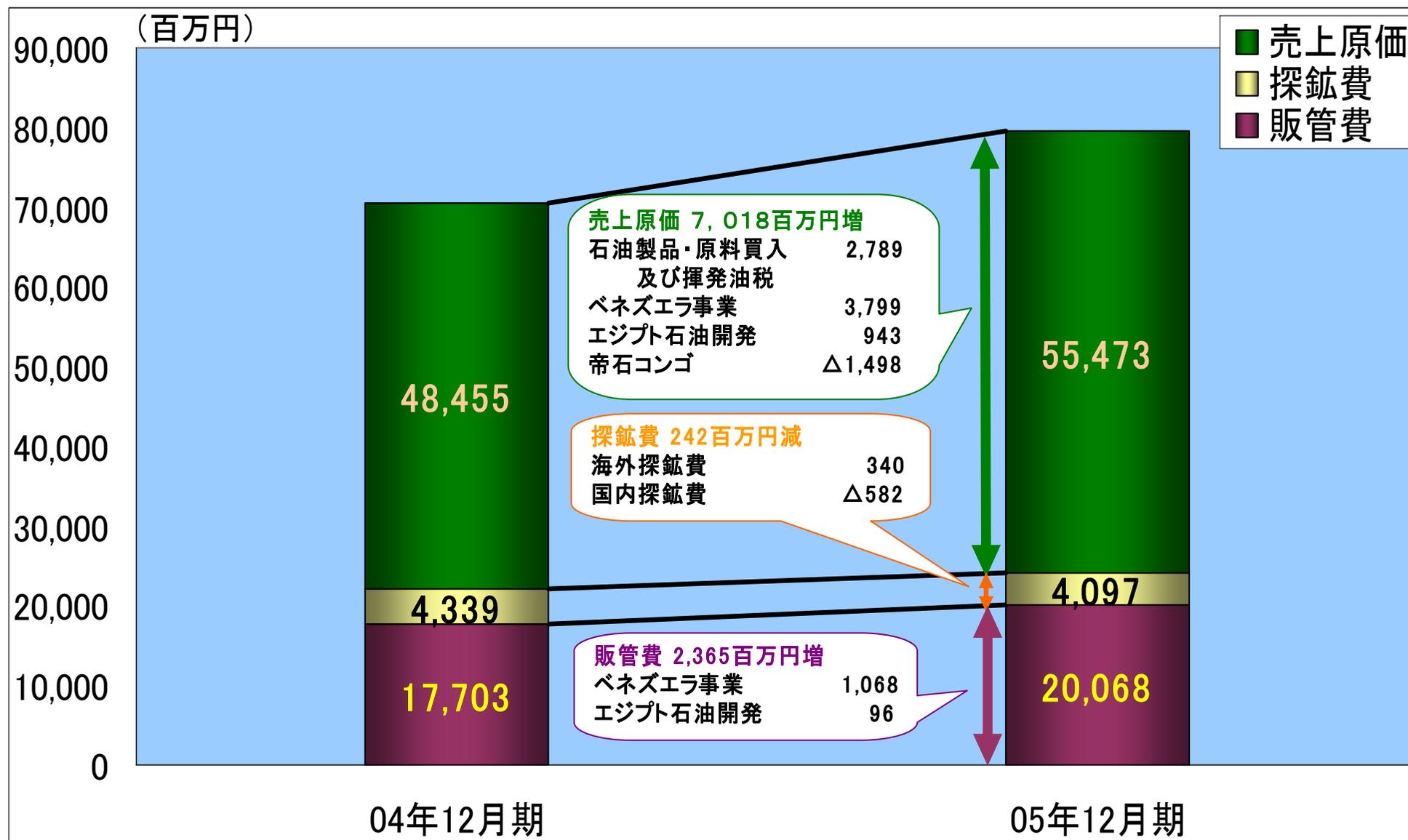
	(百万円)		
	04年12月期	05年12月期	比較増減
売上高	33,372	38,365	4,993

帝国石油販売量		(千KL)		
		04年12月期	05年12月期	比較増減
買入販売		385	405	20
(内 オイルターミナル入出荷業務分)		(250)	(263)	(13)
自社生産等		210	220	10
合計		595	625	30

売上原価/探鉱費/販管費(対前期)

INPEX

TEISEKI



営業外損益(対前期)

- ・持分法による投資利益の減少
- ・海外投資等損失引当金の繰入増加

	04年12月期	05年12月期	(百万円) 比較増減
営業外収益			
受取利息・受取配当金	764	990	226
受取歩油及び歩ガス代	584	721	137
持分法による投資利益	1,354	320	△ 1,034
海外投資等損失引当金戻入額	199		△ 199
その他の	951	1,568	617
合計	3,854	3,600	△ 254
営業外費用			
支払利息	368	608	240
海外投資等損失引当金繰入額		928	928
廃鉱費用引当金繰入額	146	95	△ 51
その他の	349	224	△ 125
合計	864	1,857	993
* 海投損繰入額純額	△ 199	928	1,127
内訳 繰入額	73	1,200	1,127
戻入額	△ 272	△ 272	0
* 海外探鉱投資	926	2,393	1,467
内訳 探鉱費計上	853	1,193	340
海投損繰入計上	73	1,200	1,127

特別損益(対前期)

INPEX

TEISEKI

	04年12月期	05年12月期	(百万円) 比較増減
特 別 利 益			
固 定 資 産 売 却 益	138	146	8
投 資 有 価 証 券 売 却 益		3,430	3,430
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	14	1	△ 13
合 計	153	3,578	3,425
特 別 損 失			
減 損 損 失		275	275
合 計		275	275

貸借対照表(対前期末)

INPEX

TEISEKI

- ・各種設備工事進行による建設仮勘定の増加
- ・保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加
- ・国内設備投資等における長期借入金金の増加

(百万円)

	04年12月期	05年12月期	比較増減		04年12月期	05年12月期	比較増減
流動資産	45,658	58,586	12,928	流動負債	27,439	28,998	1,559
				短期借入金	(4,406)	(5,175)	(769)
				未払金	(14,211)	(14,323)	(112)
固定資産	194,854	235,180	40,326	固定負債	44,986	65,230	20,244
有形固定資産	114,220	125,418	11,198	長期借入金	(13,529)	(23,847)	(10,318)
建物及び構築物	(79,763)	(79,346)	(△ 417)	繰延税金負債	(12,611)	(23,277)	(10,666)
建設仮勘定	(11,743)	(24,417)	(12,674)	負債合計	72,425	94,229	21,804
無形固定資産	776	811	35	少数株主持分	2,150	2,320	170
投資その他の資産	79,858	108,949	29,091	資本金	19,579	19,579	-
投資有価証券	(68,381)	(96,025)	(27,644)	資本剰余金	11,225	11,230	5
海外投資等損失引当金	(△ 2,253)	(△ 2,946)	(△ 693)	利益剰余金	114,999	127,688	12,689
探鉱開発投資勘定	(2,582)	(3,312)	(730)	その他有価証券評価差額金	20,533	39,081	18,548
				為替換算調整勘定	78	457	379
				自己株式	△ 479	△ 820	△ 341
				資本合計	165,936	197,216	31,280
資産の部合計	240,513	293,767	53,254	負債・少株・資本の部合計	240,513	293,767	53,254

()表示内は、内数

キャッシュフロー(対前期)

INPEX

TEISEKI

・税金等調整前当期純利益の増益、国内設備投資等における借入

(百万円)

	04年1月1日 04年12月31日	05年1月1日 05年12月31日	比較増減
現金及び現金同等物期首残高	28,789	22,234	△ 6,555
営業活動キャッシュフロー	19,225	15,118	△ 4,107
税金等調整前当期純利益	(16,676)	(26,122)	(9,446)
減価償却費	(10,160)	(8,962)	(△ 1,198)
法人税等の支払額	(△ 5,903)	(△ 10,045)	(△ 4,142)
投資活動キャッシュフロー	△ 20,018	△ 20,287	△ 269
有形固定資産の取得による支出	(△ 15,964)	(△ 19,980)	(△ 4,016)
子会社株式の取得による支出	(△ 2,421)	(△ 107)	(2,314)
探鉱開発投資勘定の支出	(△ 56)	(△ 3,083)	(△ 3,027)
財務活動キャッシュフロー	△ 5,824	7,845	13,669
長期借入金による収入	(260)	(14,860)	(14,600)
配当金支払	(△ 1,823)	(△ 2,729)	(△ 906)
現金及び現金同等物換算差額	16	632	616
現金及び現金同等物増減額	△ 6,601	3,309	9,910
新規連結増加分	46	1	△ 45
現金及び現金同等物期末残高	22,234	25,545	3,311

() 表示は、内数

2006年3月期損益計算書(2006年1月~3月)

INPEX

TEISEKI

	(百万円) 06年3月期	売上高内訳				
売上高	27,718	天	然	ガ	ス	12,951
売上原価	12,807	L		P	G	235
探鉱費	740	石	油	製	品	3,995
販管費	4,699	ヨ	—		ド	9,867
営業利益	9,470	そ	の		他	202
営業外収益	5,249	合			計	466
営業外費用	1,915					27,718
経常利益	12,804					
特別利益						
特別損失	2,587					
税金等調整前当期純利益	10,216					
法人税等	3,731					
少数株主利益						
当期純利益	6,484					

第一石開持分法投資利益 (4,067)
 探鉱開発権償却 (1,067)
 ベネズエラ事業契約形態
 変更に伴う既投資額相当

天然ガス販売(対前年同期)

INPEX

TEISEKI

	05年第一四半期	06年3月期	(百万円) 比較増減
売 上 高	12,032	12,951	919
(帝石・磐城沖)	(11,616)	(12,281)	(665)
(ベネズエラ事業)	(415)	(669)	(254)

※ (帝石) 1 m³当り 43.12 MJ (10,300 kcal)

	05年第一四半期	06年3月期	(百万m ³) 比較増減
帝 国 石 油	280	323	43
磐城沖石油開発	33	20	△ 13
ベネズエラ石油	140	202	62
販 売 量	453	545	92

原油販売(対前年同期)

INPEX

TEISEKI

	05年第一四半期	06年3月期	比較増減
販売量(千bbl)	864	700	△ 164
売上高(百万円)	3,507	3,995	488

(単位/数量：千bbl、金額：百万円、単価：\$/bbl)

(主要な内訳)		05年第一四半期	06年3月期	比較増減	差異金額(億円)
帝石コンゴ石油	数量	335	366	31	数量差 1
	金額	1,581	2,564	983	単価差 6
	単価	45.15	59.83	14.68	為替差 3
エジプト石油開発	数量	179		△ 179	数量差
	金額	414		△ 414	単価差
	単価	21.97		△ 21.97	為替差
ベネズエラ事業	数量	327	319	△ 8	数量差 △ 0
	金額	1,416	1,339	△ 77	単価差 2
	単価	30.60	37.86	7.26	為替差 △ 3

エジプト石油開発は、決算期変更をせず当期損益を取り込んでいない。

今期予想概要(対実績)

INPEX

TEISEKI

	05年12月期実績	07年3月期予想	比較増減	(億円) 対前期比
売上高	1,007	1,198	191	19%
売上原価	555	645	90	
探鉱費	41	31	△ 10	
販管費	200	210	10	
営業利益	211	312	101	48%
営業外収益	36	98	62	
営業外費用	19	51	32	
経常利益	228	359	131	57%
特別利益	36	2	△ 34	
特別損失	3		△ 3	
税金等調整前当期純利益	261	361	100	38%
法人税等	103	135	32	
少数株主利益	3	10	7	
当期純利益	155	216	61	39%

売 上 高

	05年12月期実績	07年3月期予想	比較増減	(億円) 対前期比
天然ガス	380	490	110	29%
LPG	23	23	0	0%
原油	177	196	19	11%
石油製品	384	432	48	13%
その他の	8	9	1	13%
その他	35	48	13	37%
合計	1,007	1,198	191	19%

売上高予想(対実績)

INPEX

TEISEKI

売 上 高

(億円)

	05年12月期実績	07年3月期予想	比較増減	対前期比
天 然 ガ ス	380	490	110	29%
L P G	23	23	0	0%
原 油	177	196	19	11%
石 油 製 品	384	432	48	13%
ヨ ー ド	8	9	1	13%
そ の 他	35	48	13	37%
合 計	1,007	1,198	191	19%

天然ガス販売予想(対実績)

INPEX

TEISEKI

- ・帝石 増収 : 工業用中心に供給拡大
- ・ベネズエラ事業 増収 : ガス増産

	05年12月期実績	07年3月期予想	(億円) 比較増減
売 上 高	380	490	110
(帝石・磐城沖)	(359)	(424)	(65)
(ベネズエラ事業)	(21)	(66)	(45)

※ (帝石) 1m³当り43.12MJ (10,300kcal)

	05年12月期実績	07年3月期予想	(百万m ³) 比較増減
帝 国 石 油	913	1,140	227
磐 城 沖 石 油 開 発	91	67	△ 24
ベ ネ ズ エ ラ 石 油	682	783	101
販 売 量	1,685	1,990	305

原油販売予想(対実績)

INPEX

TEISEKI

- ・**エクアドル事業**：現在申請中の政府承認を条件に、売上高を新規に計上
- ・**ベネズエラ事業**：原油JV事業は持分法適用へ

	05年12月期実績	07年3月期予想	比較増減
販売量(千bbl)	3,779	4,032	253
売上高(億円)	177	196	19

(単位/数量：千bbl、金額：億円、単価：\$/bbl)

(主要な内訳)		05年12月期実績	07年3月期予想	比較増減	差異金額(億円)
帝石コンゴ石油	数量	1,724	1,750	26	数量差 1
	金額	98	98	0	単価差 △ 1
	単価	51.36	51.00	△ 0.36	為替差 0
エジプト石油開発	数量	726	767	41	数量差 1
	金額	24	24	0	単価差 0
	単価	29.35	29.00	△ 0.35	為替差 △ 1
ベネズエラ事業	数量	1,267		△ 1,267	
	金額	52		△ 52	
	単価	35.64		△ 35.64	
エクアドル事業	数量		1,348	1,348	
	金額		64	64	
	単価		43.00	43.00	

※前提条件 WTI \$57 / ブレント \$55

石油製品販売予想(対実績)

INPEX

TEISEKI

・増収：販売数量増加

	05年12月期実績	07年3月期予想	(億円) 比較増減
売上高	384	432	48

	05年12月期実績	07年3月期予想	(千KL) 比較増減
帝国石油販売量			
買入販売	405	467	62
(内 オイルターミナル入出荷業務分)	(263)	(319)	(56)
自社生産等	220	221	1
合計	625	688	63

※ (07.3年予想 前提条件) 原油C I F 価格 53\$

今期損益予想(対実績)

INPEX

TEISEKI

	(億円)			
	05年12月期実績	07年3月期予想	比較増減	対前期比
売上高	1,007	1,198	191	19%
売上原価	555	645	90 *1	
探鉱費	41	31	△ 10 *2	
販管費	200	210	10 *3	
営業利益	211	312	101	48%
営業外収益	36	98	62 *4	
営業外費用	19	51	32 *5	
経常利益	228	359	131	57%
特別利益	36	2	△ 34 *6	
特別損失	3		△ 3	
税金等調整前当期純利益	261	361	100	38%
法人税等	103	135	32	
少数株主利益	3	10	7	
当期純利益	155	216	61	39%

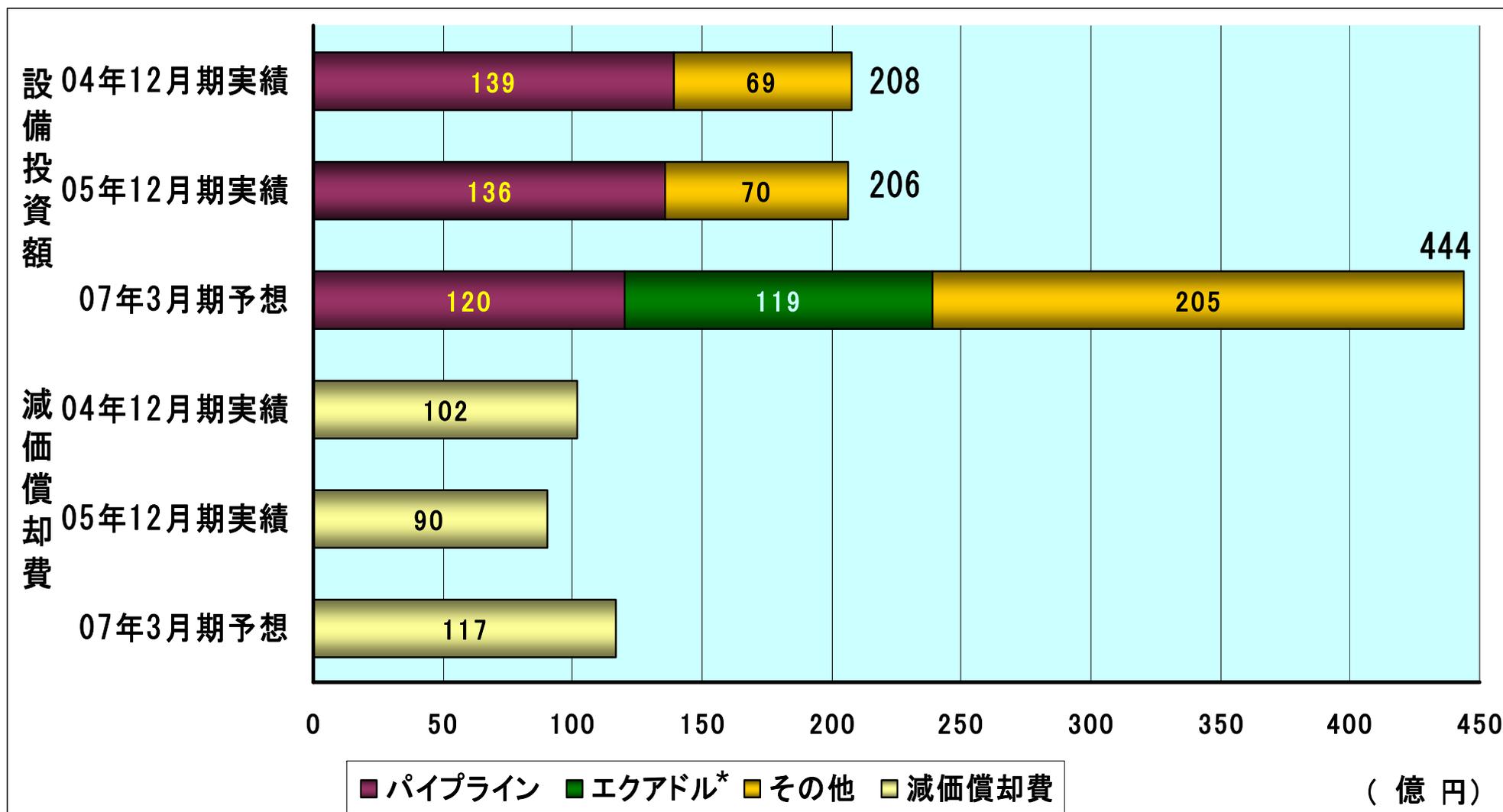
*1	石油製品・原料買入	8
	揮発油税等	32
	コンゴ	10
	ベネズエラ	△ 10
	エクアドル*	22
*2	海外探鉱費	15
	国内探鉱費	△ 25
	減価償却費	6
*3	ベネズエラ	△ 9
	エクアドル*	6
4	エクアドル	70
*5	生産物回収勘定引当金繰入	32
*6	投資有価証券売却益	△ 34

*権益移転に係る政府承認手続中であり、当該契約は政府承認を得た後、正式に発効する予定であります

設備投資額及び減価償却費予想(対実績)

INPEX

TEISEKI



* 権益移転に係る政府承認手続中であり、当該契約は政府承認を得た後、正式に発効する予定であります

国際石油開発 2006年3月期連結決算参考データ

国際石油開発 2006年3月期単体決算ハイライト

INPEX

TEISEKI

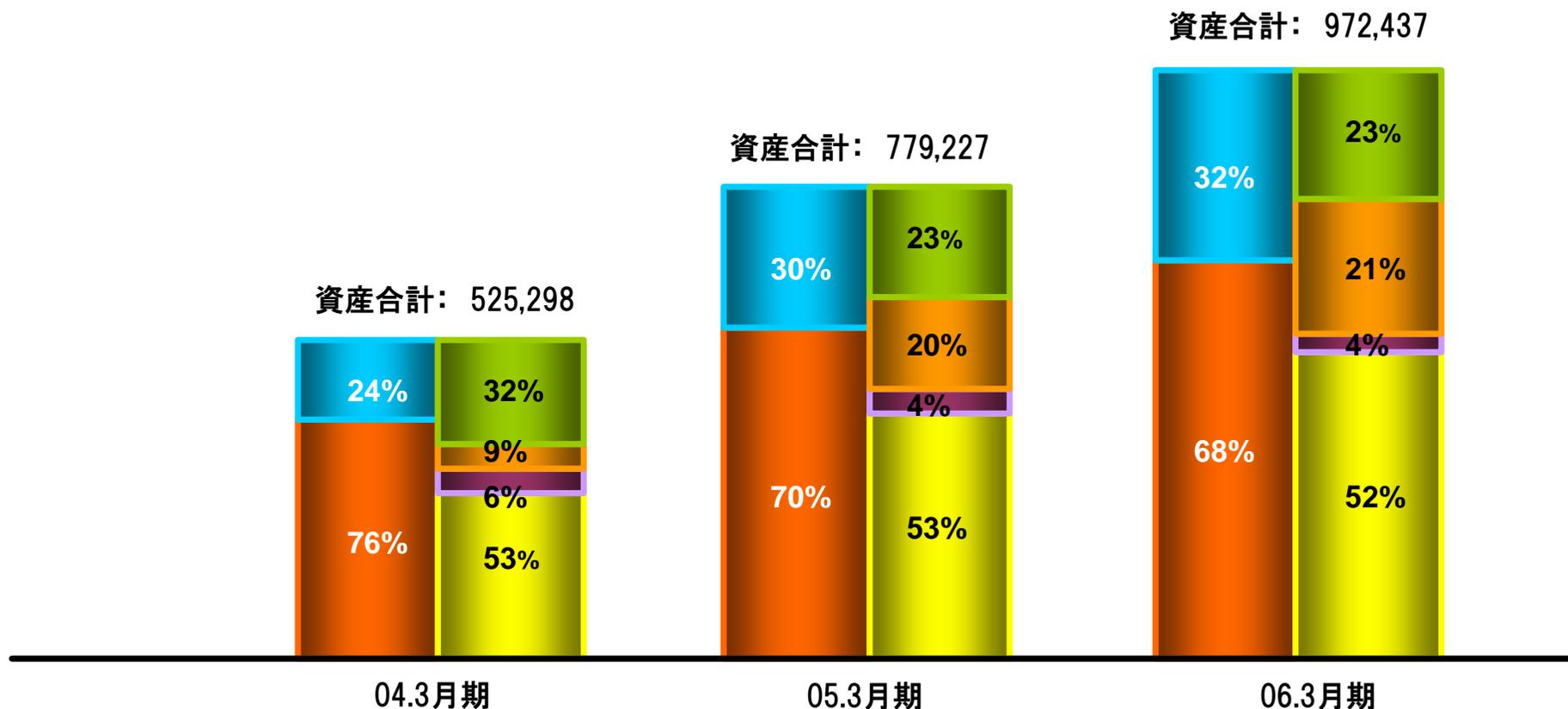
	05年3月期	06年3月期	増減	増減率
売上高(億円)	2,027	2,581	554	27.3%
営業利益(億円)	1,135	1,609	474	41.7%
経常利益(億円)	1,125	1,593	468	41.6%
当期純利益(億円)	507	699	191	37.7%
(1株当たり当期純利益(円))	(26,717.47)	(36,372.85)	(9,655.38)	(36.1%)
配当額(億円)	76	105	28	37.5%
(1株あたりの配当額(円))	(4,000)	(5,500)	(1,500)	(37.5%)

連結貸借対照表概要

INPEX

TEISEKI

(百万円)



■ 現金及び預金**+有価証券**
 ■ その他資産
 ■ 有利子負債
 ■ その他負債
 ■ 少数株主持分
 ■ 資本合計

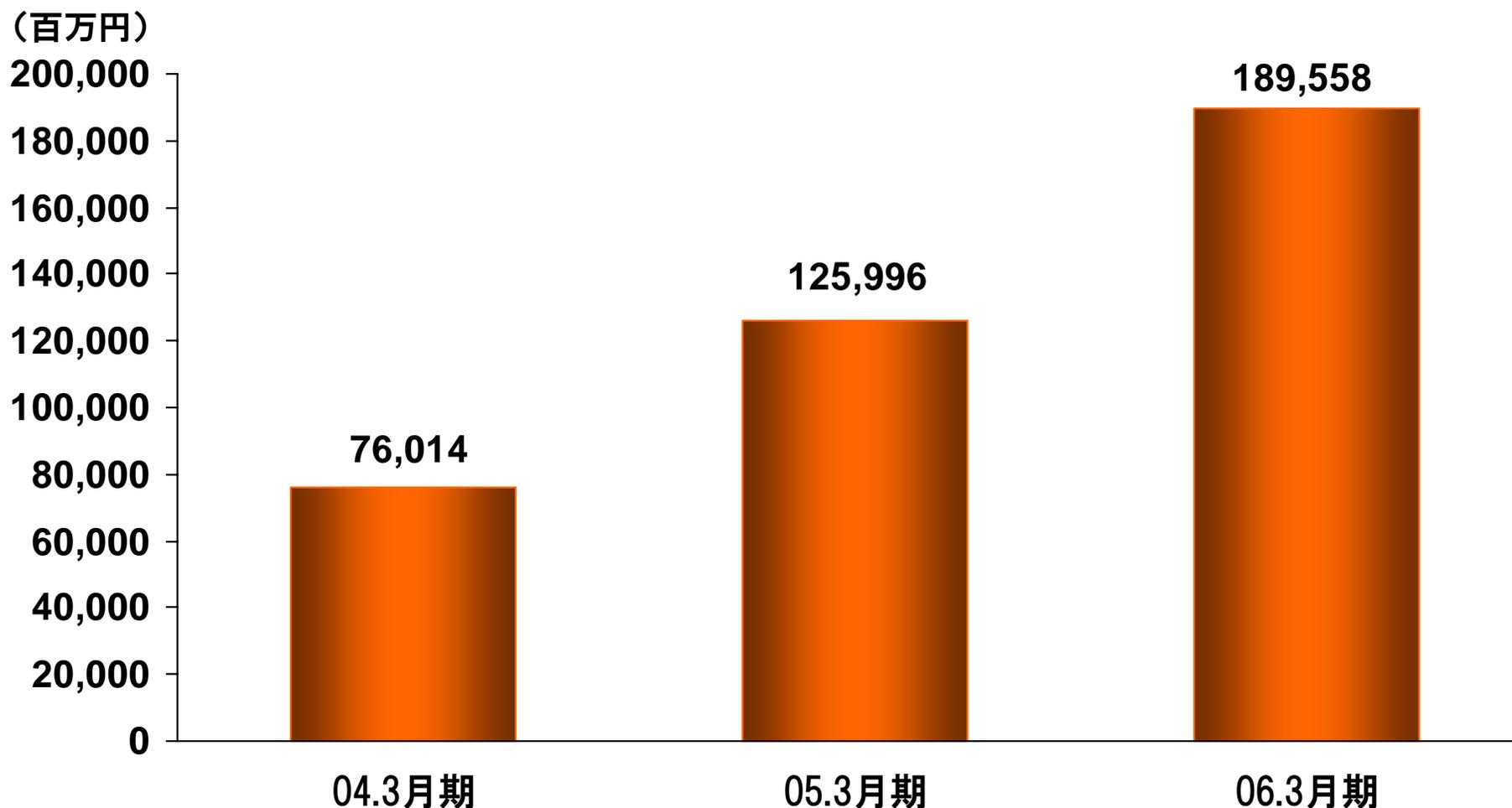
注:* 担保に供している定期預金が2004年3月期は9,140百万円、2005年3月期は8,200百万円、2006年3月期は9,400百万円含まれている。

** 国債・地方債・社債等(時価のあるもの)。

利払い・償却・探鉱費前利益(EBIDAX)*

INPEX

TEISEKI



注: *当期純利益+少数株主損益+法人税等調整額+(1-実効税率)×(支払利息-受取利息)+(減価償却費+生産物回収勘定(資本支出)の回収額)+(探鉱費+生産物回収勘定引当金繰入額)+探鉱開発権償却+為替差損益
当社のEBIDAXは、他社のEBIDAX又は同様の指標と直接比較できない可能性があります

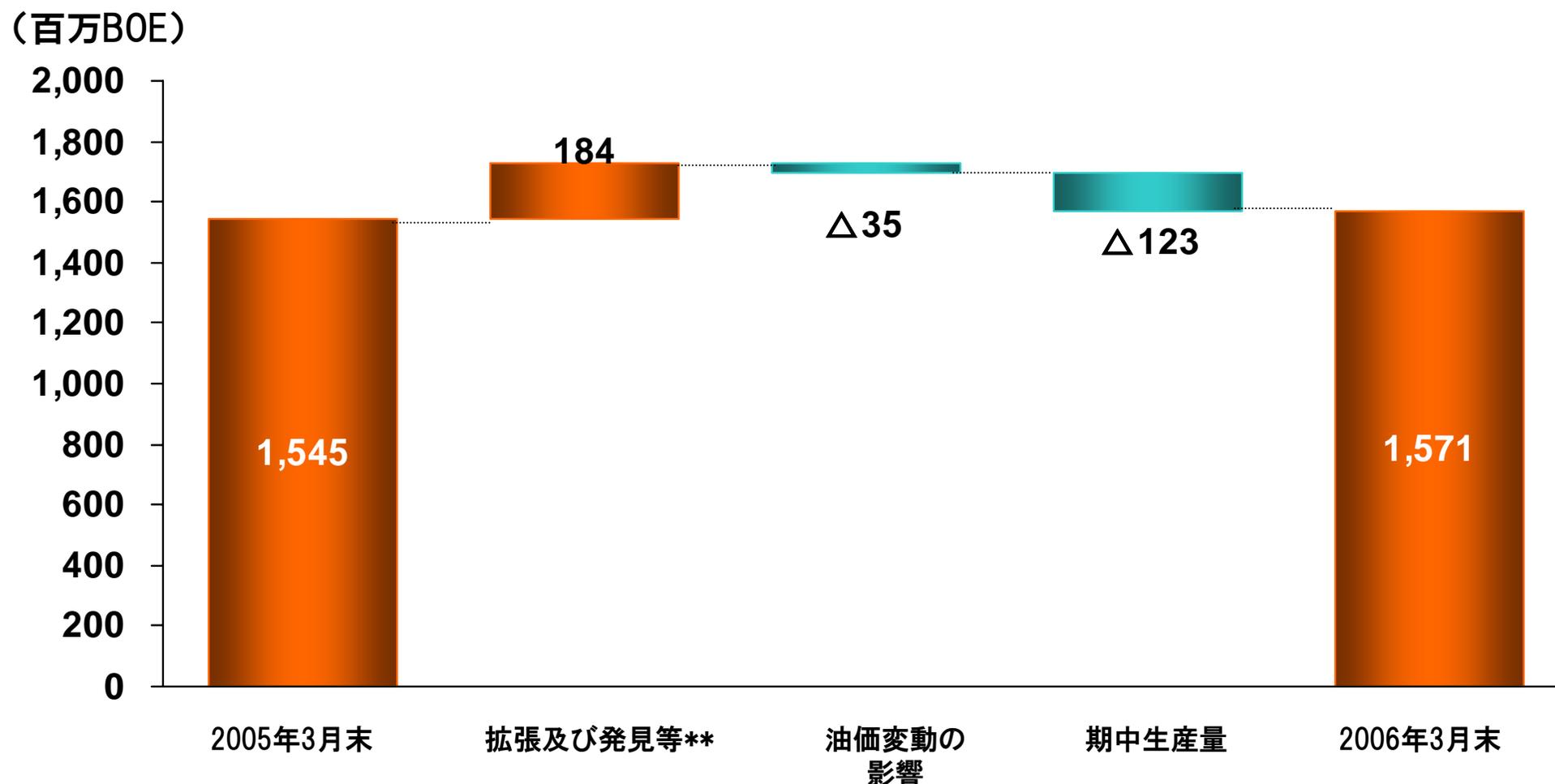
2006年3月期 EBIDAXの計算詳細

INPEX

TEISEKI

	INPEX	出所	備考
当期純利益	103,476	P/L	
少数株主損益	1,406	P/L	
減価償却相当額	78,395		
減価償却費	16,065	C/F	コンセッション契約及び販管費に係る減価償却費
生産物回収勘定(資本支出)の 回収額	62,330	C/F	PS契約に係る減価償却費
探鉱費相当額	9,163		
探鉱費	5,521	P/L	コンセッション契約に係る探鉱費
生産物回収勘定引当金繰入額	3,642	P/L	PS契約に係る探鉱費
重要な非現金項目	△2,832		
法人税等調整額	△13,862	P/L	
為替差損益	11,030	C/F	
探鉱開発権償却	404	P/L	探鉱中資産の取得に係る現金拋出
税引後ネット支払利息	△454	P/L	税引後の支払利息－受取利息
EBIDAX	189,558		

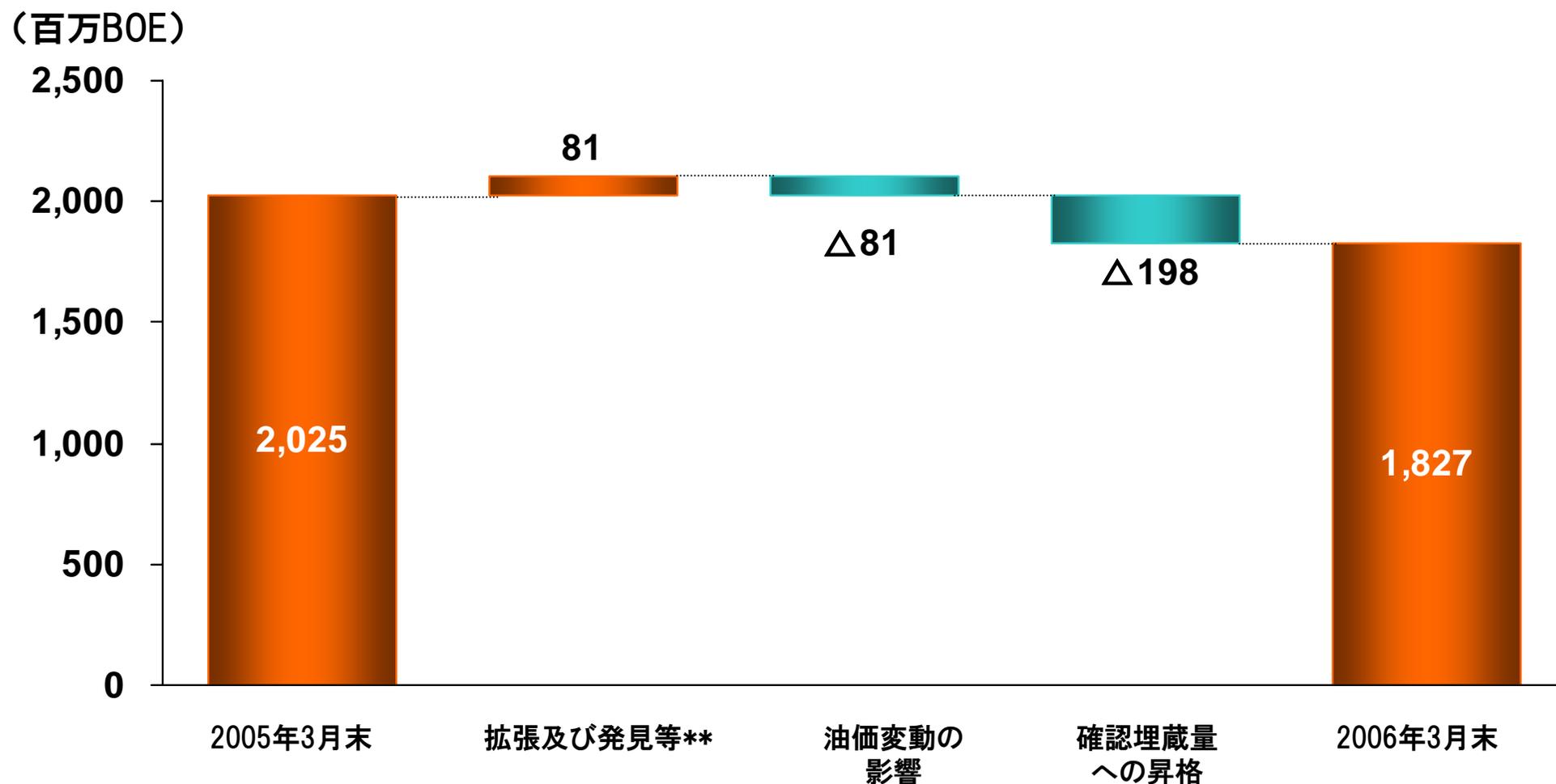
確認埋蔵量*の推移の要因分析(国際石油開発分)



* 確認埋蔵量はDeGolyer&MacNaughton社の埋蔵量評価鑑定書に基づく米国証券取引委員会(SEC)規則に従った数値。持分法適用会社の持分を含む。

**買収及び売却、技術評価見直し、推定埋蔵量からの昇格等を含む。

推定埋蔵量*の推移の要因分析(国際石油開発分)



*推定埋蔵量はDeGolyer&MacNaughton社の埋蔵量評価鑑定書に基づくSPE(米国石油技術者協会)/WPC(世界石油会議)の基準に従った数値。持分法適用会社の持分を含む。

**買収及び売却、技術評価見直し等を含む。

確認埋蔵量の定義

- 確認埋蔵量の定義は、米国の投資家に広く知られている米国証券取引委員会規則S-X Rule 4-10に従っており、地質的・工学的データに基づき、現在の経済条件及び操業条件の下で、将来にわたり合理的な確実性をもって回収することが可能である原油・天然ガスの数量(estimated quantities)とされております
- 確認埋蔵量に分類されるためには、市場及び経済性のある採取・処理・出荷手段が既に存在するか、あるいは、近い将来に実現することが確実であることが条件となっており、石油・ガス業界で用いられる埋蔵量の定義の中でも保守的な数値として広く認識されております
- また、米国証券取引委員会規則の定義による確認埋蔵量は、既存の坑井及び施設を利用して回収することができる確認開発埋蔵量(proved developed)と将来掘削される坑井及び施設を利用して回収することができる確認未開発埋蔵量(proved undeveloped)の二つに区分されております

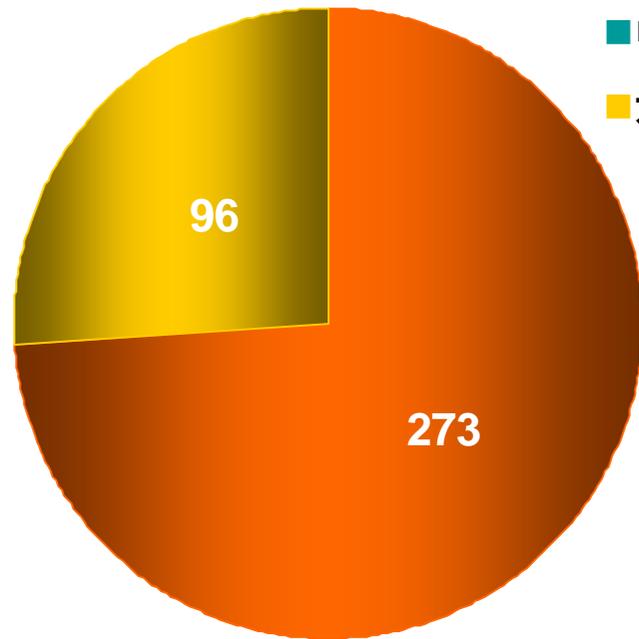
推定埋蔵量の定義

- 推定埋蔵量の定義は、石油技術者協会(SPE)及び世界石油会議(WPC)の両学会が共同で定めた指針に従っており、地質的・工学的データに基づき、将来おそらく回収することが可能である未確認埋蔵量(Unproved Reserves)とされております
- 確率論的手法を用いて推定埋蔵量を算定する場合には、確認埋蔵量と推定埋蔵量を合計した数量に対して、回収することができる確率が少なくとも50%以上であることが必要とされています
- 米国証券取引委員会規則に基づく確認埋蔵量との違いは、埋蔵量評価時点において、将来にわたり合理的な確実性をもって回収することが可能と認識できるかどうかという点であり、新規技術データの追加や経済条件及び操業条件等の熟度と開発される確度が高まることにより、推定埋蔵量は確認埋蔵量に格上げされることとなります

**国際石油開発帝石ホールディングス
2007年3月期 投資計画**

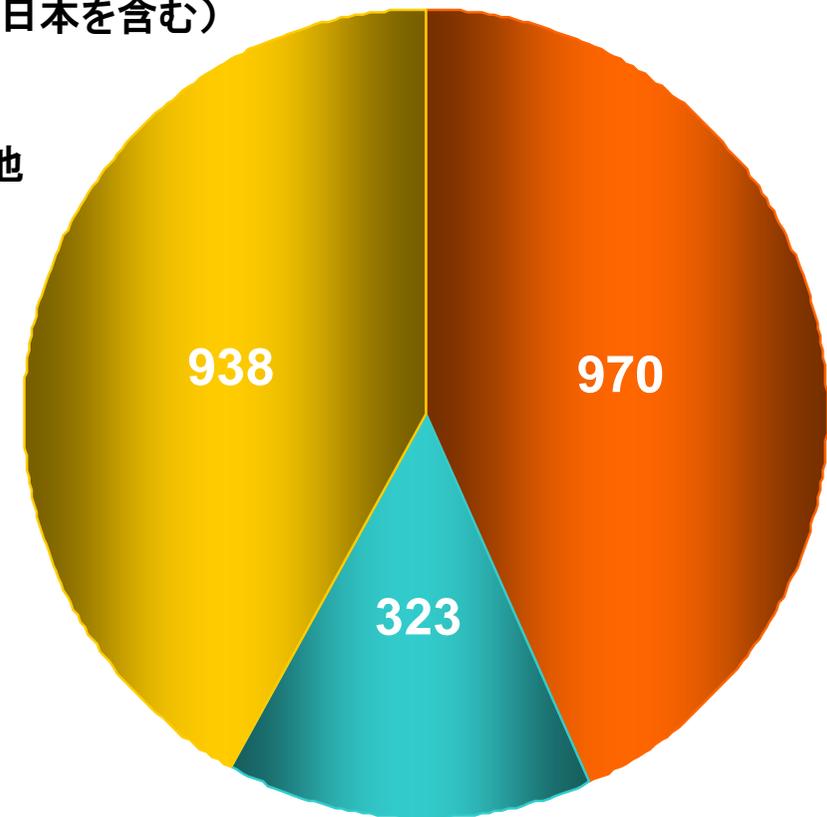
2007年3月期 投資計画(国際石油開発帝石ホールディングス)

探鉱投資



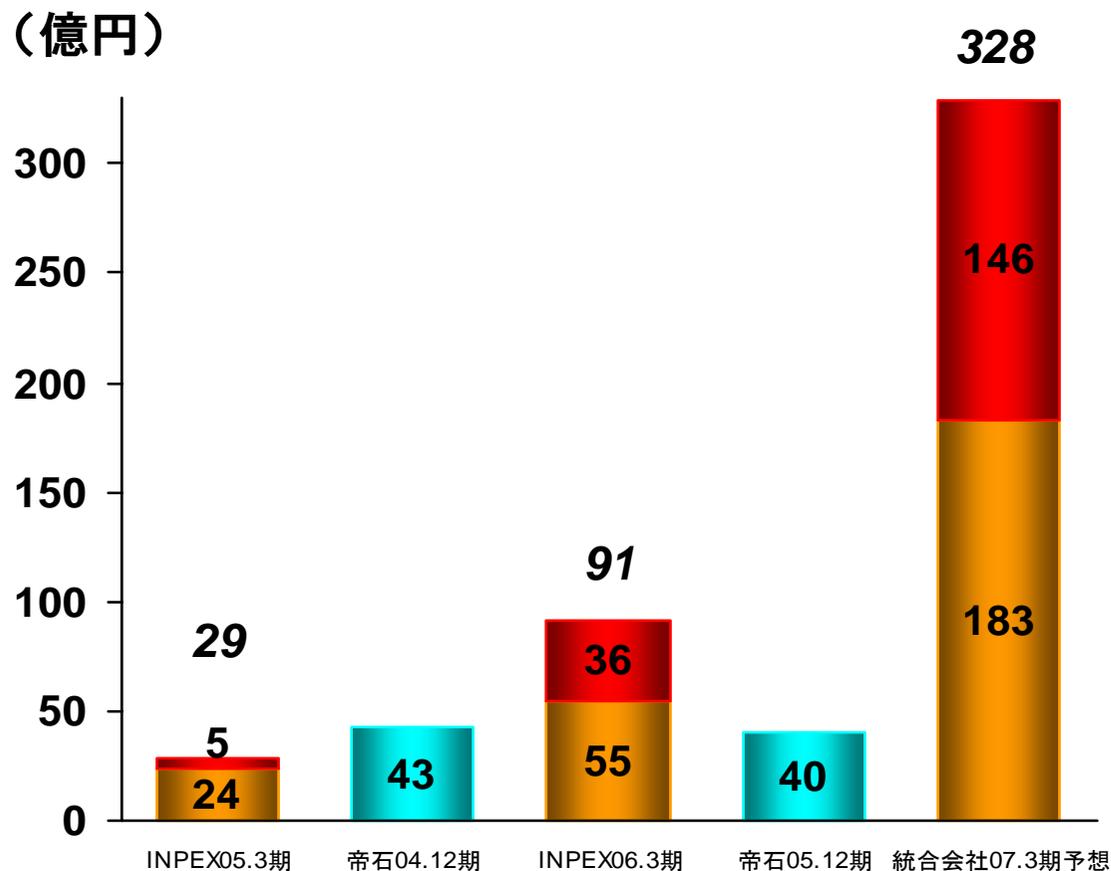
探鉱投資:369億円

開発投資



開発投資:2,231億円

探鉱費・生産物回収勘定引当金繰入額予想

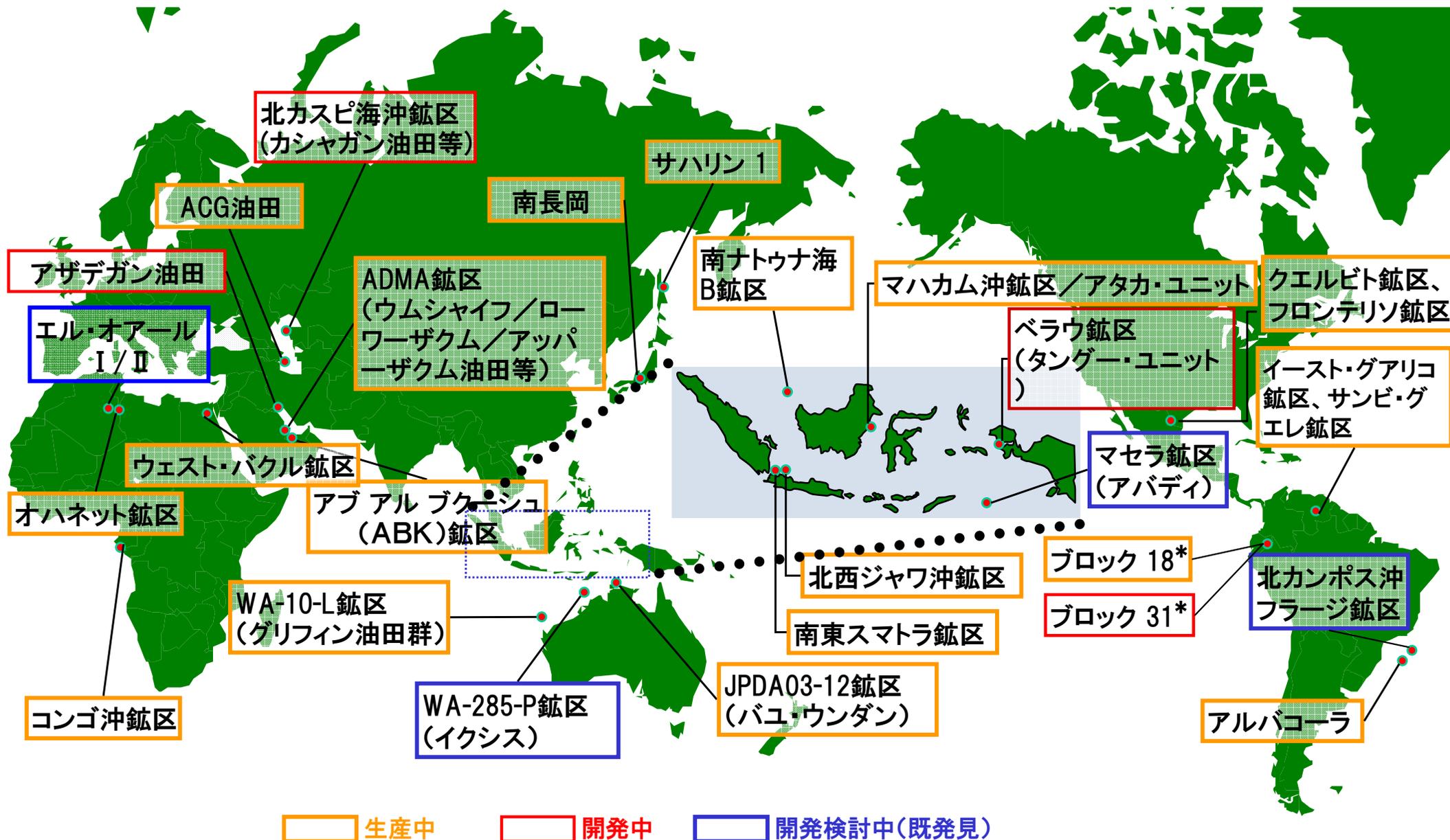


- 探鉱費
- 生産物回収勘定引当金繰入額(PS契約)
- 探鉱費(コンセッション契約)

- 国際石油開発の年度は4月～3月。帝国石油は1月～12月
- 帝国石油の実績は、契約形態にかかわらず探鉱投資は探鉱費として費用計上
- 国際石油開発の2006年3月期は、ブラウズ掘削作業を実施していることなどから、前期比で増加。
- 2007年3月期は、ブラウズ、マセラで掘削キャンペーンを実施する予定にしており、大幅な増加が見込まれております。

国際石油開発帝石ホールディングス プロジェクト参考データ

主なプロジェクトの地理的位置



* 権益移転に係る政府承認手続中であり、当該契約は政府承認を得た後、正式に発効する予定であります。

南長岡ガス田を中心とする国内天然ガス事業



国内パイプラインネットワーク

■ 生産量*

- 天然ガス: 日量約2.6百万 m^3
- 原油: 日量約3.2千バレル

■ 南長岡ガス田(1984年生産開始)

- MHF技術により北部開発を促進
- 2006年にプラント処理能力増強 (日量340万 m^3 →490万 m^3 へ)

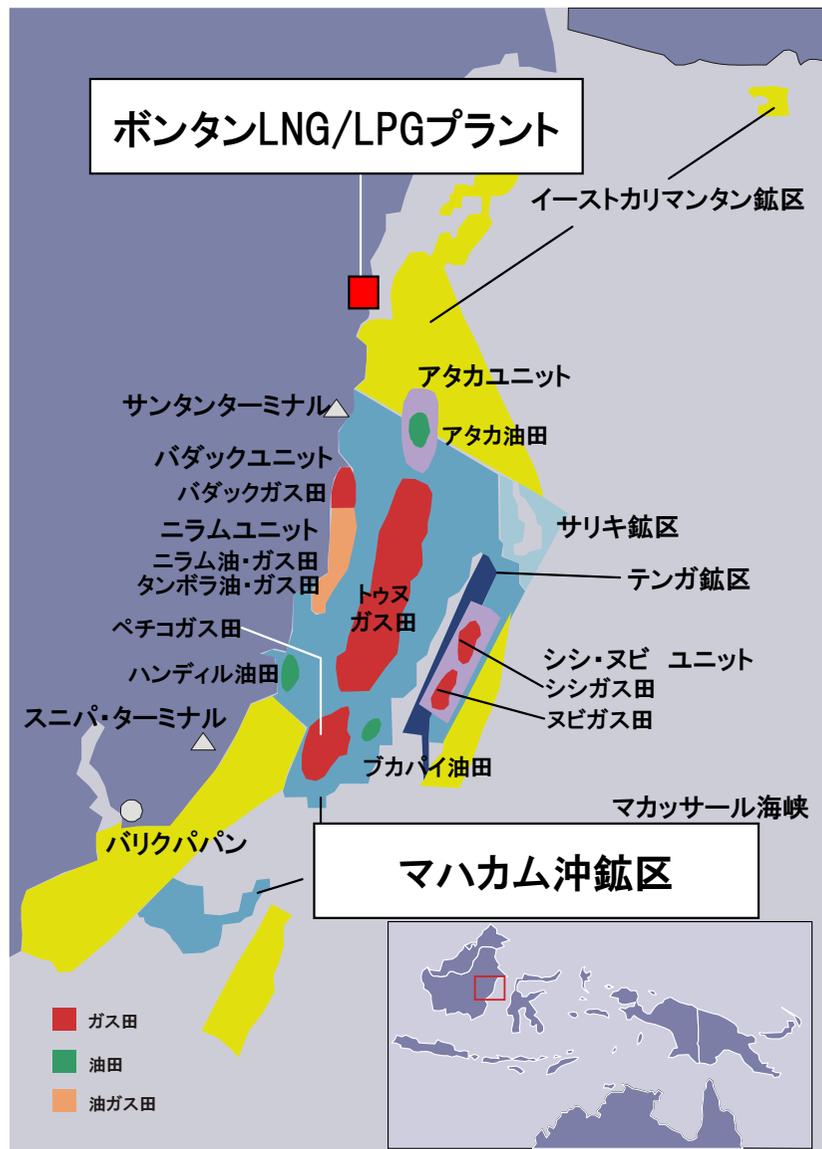
■ 2007年には関東信越地域へのガス拡販を目的としたパイプラインネットワークが完成形へ(1,300km)

- 静岡ライン(約80km:約220億円:2006年完成)
- 南富士幹線(約30km:約27億円:2006年完成)
- 新東京ライン延伸(約50km:約110億円:2007年完成)

■ 発電プラント建設中(2007年運転開始)

* 国内油田・ガス田の合計(2005年度)

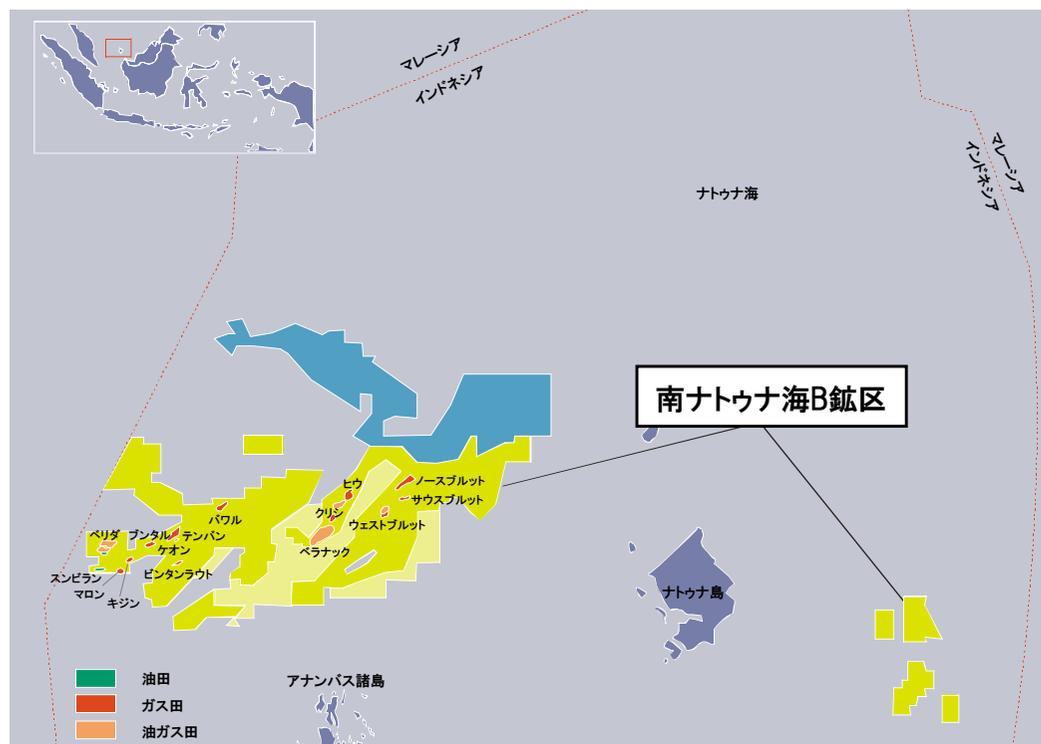
マハカム沖鉱区 国際石油開発(INPEX)



注: * 全鉱区ベース、2006年3月平均日産量

- 当社権益比率: 50%(オペレーター:TOTAL)
- 生産量*
 - 原油: 日量約6万7千バレル
 - 天然ガス: 日量約27億立方フィート
- PS契約: 2017年まで
- ポンタンLNG基地へのガス安定供給を目的として開発作業を継続
 - トウヌ/ペチコガス田の段階的開発
 - タンボラ油・ガス田の追加開発
 - シシ/ヌビ ガス田の開発

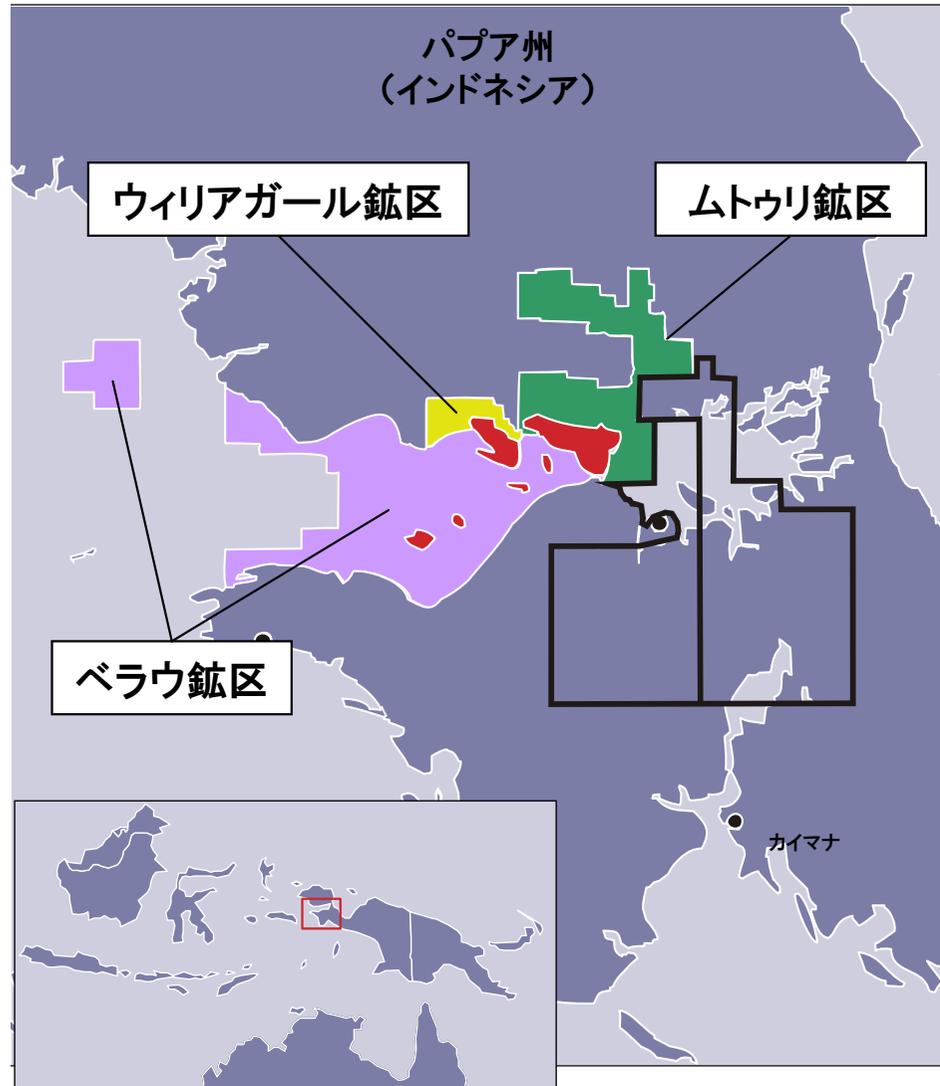
南ナトゥナ海B鉱区 ナトゥナ石油



* 全鉱区ベース、2006年3月平均日産量

- 当社権益比率: 35.0%(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量*:
 - 原油: 日量約5万4千バレル
 - 天然ガス: 日量約3億6千万立方フィート
- PS契約: 2028年まで
- SembCorp社(シンガポール)と2001年より22年間、Petronas(マレーシア)と2002年より20年間の天然ガス販売契約締結
- 2004年12月ベラナック油ガス田生産開始
- ヒウガス田は2006年、クリシ油ガス田は2007年生産開始予定
- ノースブルットガス田、2009年生産開始予定

ベラウ鉱区(タンゲーLNGプロジェクト)MI Berau B.V.



- MI Berau: 三菱商事とのJV(当社44%、三菱商事56%)
- MI Berauの権益比率
 - ベラウ鉱区: 22.9%(タンゲー・ユニット: 16.3%)(オペレーター:BP)
- PS契約: 2035年まで
- インドネシア政府より、開発計画、生産分与契約の延長についての承認取得
- 建設中のLNGプラントは2008年後半生産開始予定
 - 年間760万トンのLNGを生産する計画
 - 中国福建省向けLNG長期販売契約を締結
 - 韓国POSCO社及びK-Power社とLNG販売契約を締結
 - 米国Sempra Energy社とLNG販売契約を締結

マセラ鉱区(アバディ) インペックスマセラアラフラ海石油



- 当社権益比率: 100.0%
- オペレーター: 当社
- PS契約:
 - 探鉱期間10年間(2008年まで)
 - 開発・生産期間30年間(2028年まで)
- 2000年、試掘井アバディ1号にて天然ガスを発見
- 2002年に評価井2坑を掘削、アバディ構造が大規模ガス田であることを確認
- 2006年に評価井4坑の掘削を開始予定

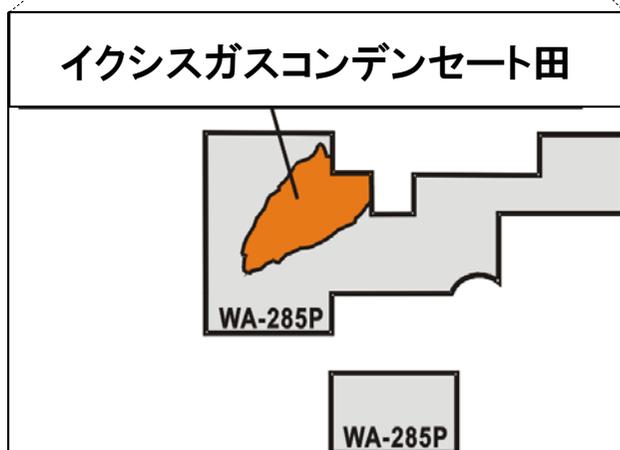
バユ・ウンダン サウル石油



注： * JPDA03-12(エラン・カカトウアを含む)全鉱区ベース、2006年3月平均日産量

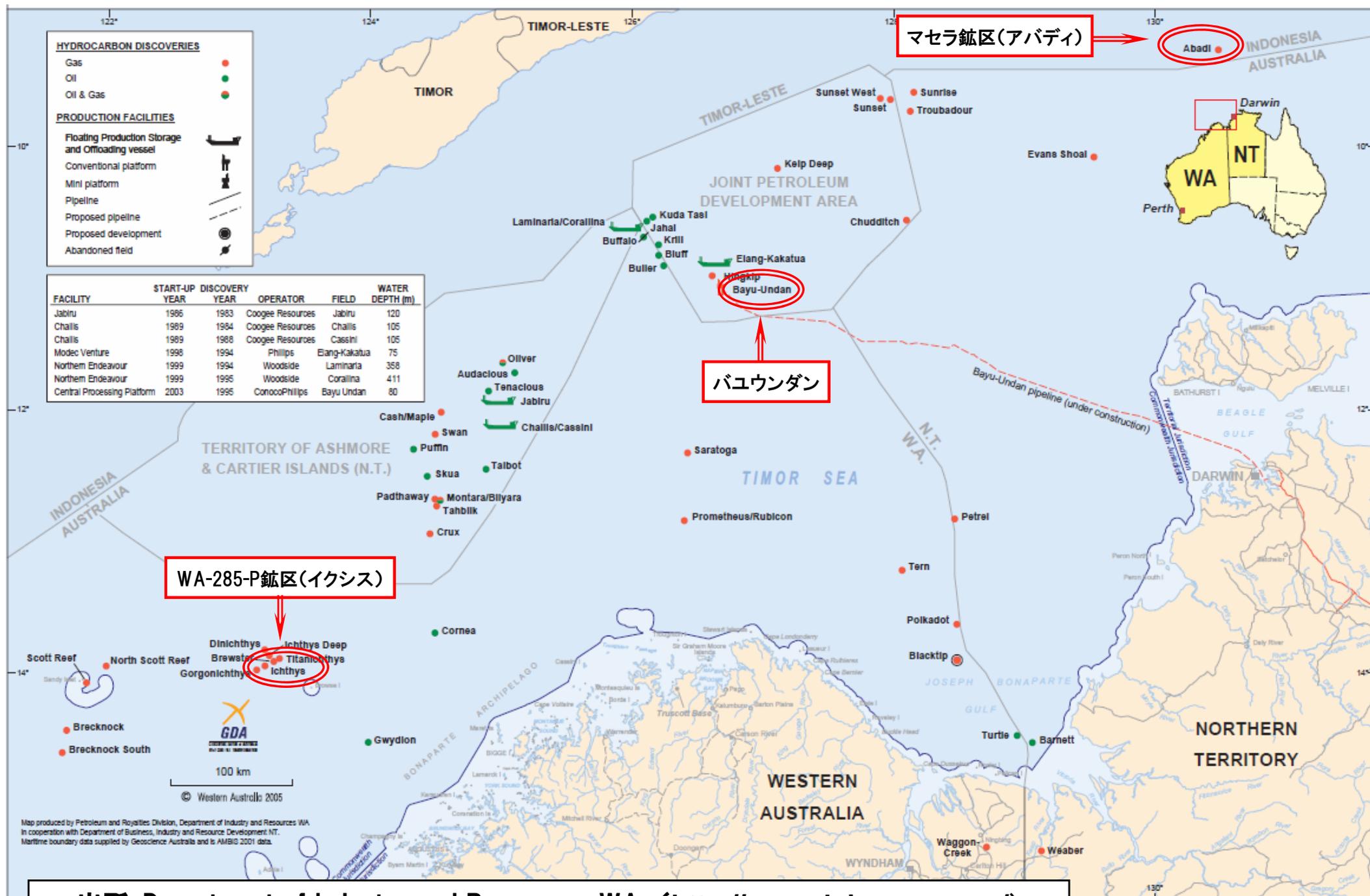
- 当社権益比率: 10.53%(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量*:
 - 原油・コンデンセート: 日量約7万2千バレル
 - 天然ガス: 日量約11億立方フィート
 - LPG: 日量約3万6千バレル
- PS契約: 2022年まで
- コンデンセート及びLPGの開発を目的としたフェーズ1については、2004年前半にコンデンセート/LPG販売開始
- フェーズ2はLNGプロジェクトであり、2006年2月にLNG販売開始
 - 2005年8月、東京電力/東京ガスとLNG販売契約締結(2006年から17年間、プラト一時年間300万トン)

WA-285-P鉦区(イクシス) インペックス西豪州ブラウズ石油



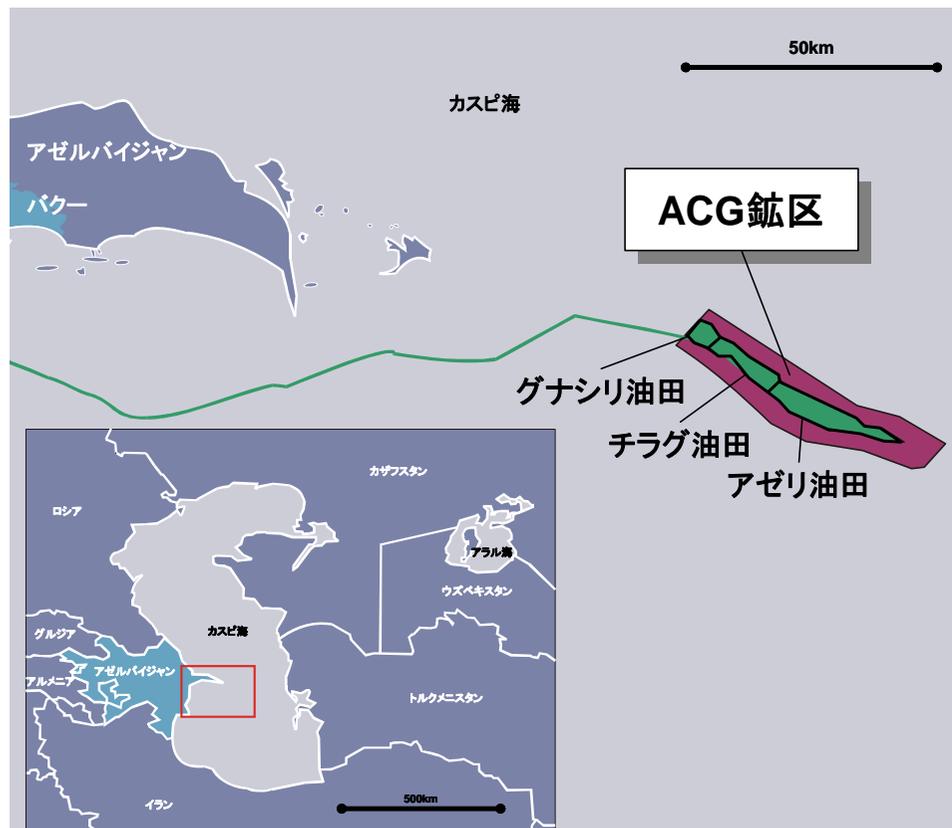
- 当社権益比率: 100.0%
- オペレーター: 当社
- 利権契約:
 - 探鉦期間 2009年9月まで
 - 生産期間 生産ライセンス付与から21年(延長可)
- 2000年より計6坑井を掘削し大規模天然ガス・コンデンセート田を確認、イクシス構造と命名
- 本年5月、豪州連邦政府及び西豪州政府に対し、プロジェクトの環境影響審査手続きを開始
- 2012年半ばのLNG生産開始を目標に開発検討作業を実施中。初期生産段階での生産・販売量はLNGを年間約600万トン、LPGとコンデンセートを合わせて日産約10万バレルを予定

マセラ鉱区およびWA-285-P鉱区の位置



出所: Department of Industry and Resources, WA (<http://www.doir.wa.gov.au/>)

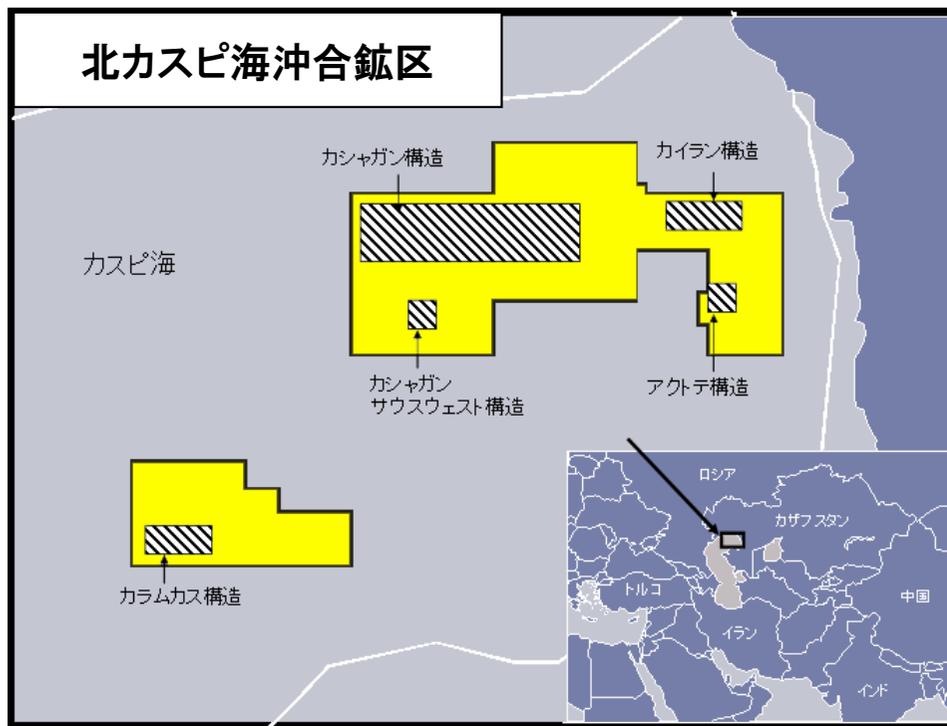
ACG油田 インペックス南西カスピ海石油



注: * 全鉱区ベース、2006年3月平均日産量

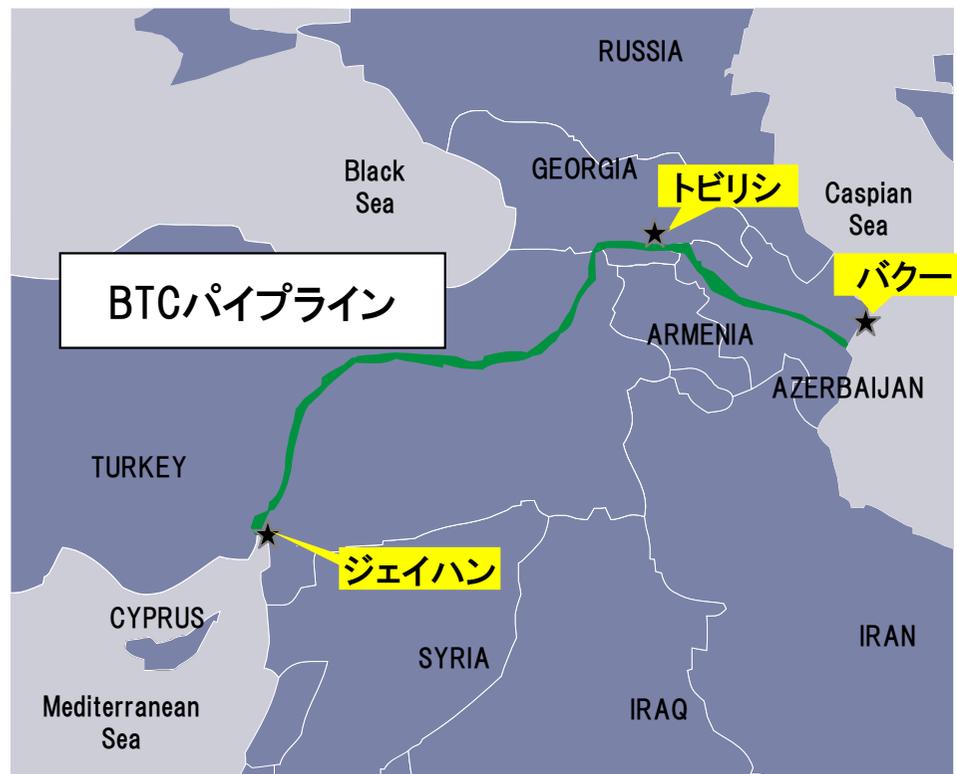
- 当社権益比率: 10.0%(オペレーター:BP)
- 生産量*: 日量約40万3千バレル
- PS契約: 2024年まで
- チラグ油田は1997年に生産開始
- アゼリ油田中央部(フェーズ1)は2005年2月に生産開始、アゼリ油田西部(フェーズ2)は同年12月に生産開始
- 今後、段階的に日量100万バレルまで増産予定
 - アゼリ油田東部(フェーズ2):2006年11月生産開始予定
 - フェーズ3開発(グナシリ油田深海部/チラグ油田西部):2008年第2四半期に生産開始予定

カシャガン油田他 インペックス北カスピ海石油



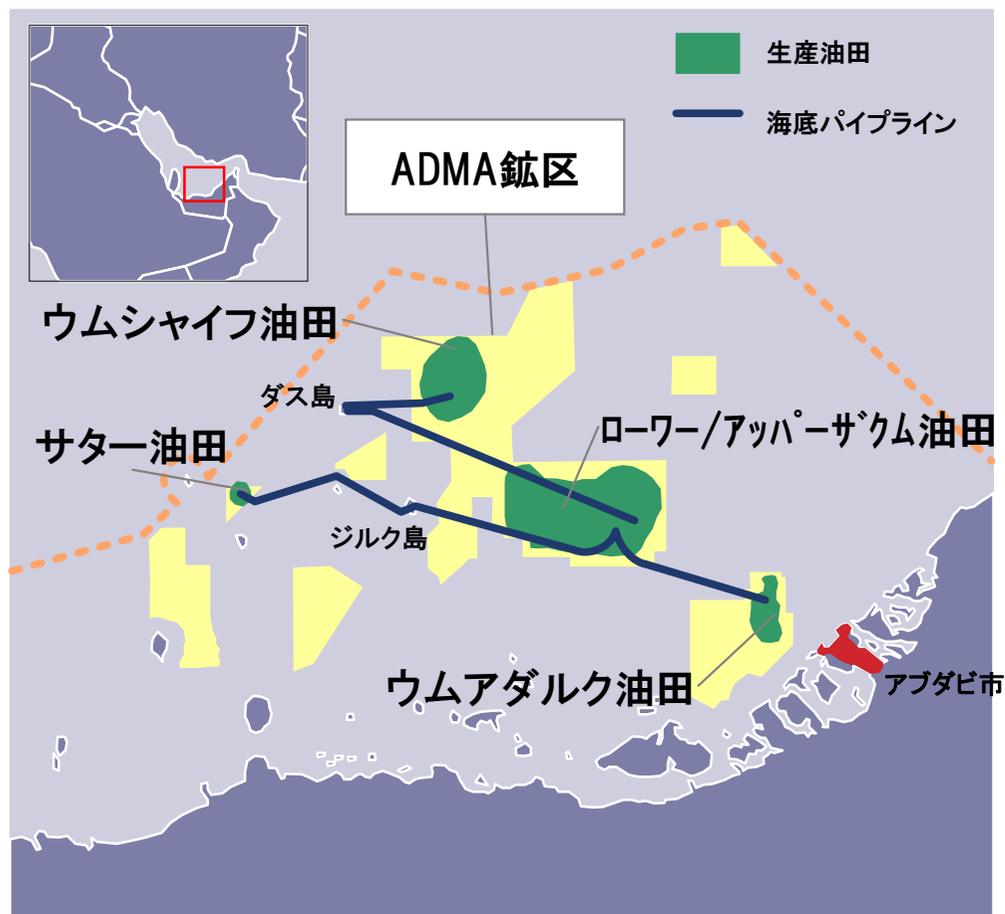
- 当社権益比率: 8.33%(オペレーター: ENI-Agip)
- PS契約: 2021年末まで
- 2000年6月カシャガンにおいて原油発見、2004年4月までに試・探掘井7坑で原油を確認
- カシャガン油田以外にもカラムカス/アクトテ/カイラン/南西カシャガンの4構造にて炭化水素の存在を確認
- 2004年2月カシャガン開発計画のカザフスタン政府承認
 - 2008年に日量7万5千バレルで生産開始を予定、その後開発地域を広げ段階的に日量120万バレルまでの増産を計画

BTC(BakuTbilisiCeyhan)パイプラインプロジェクト INPEX BTC Pipeline, Ltd.



- 当社権益比率:2.5%(オペレーター:BP)
- 2002年10月に操業会社BTC Co.の発行済み株式をINPEX BTC Pipeline, Ltd.が取得
- 2004年2月、パイプライン建設の資金調達を目的とするプロジェクトファイナンス契約調印
- 2006年5月末のパイプライン稼動開始を目指し、現在、ラインフィル作業、ポンプステーションのコミッショニング作業を実施中

ADMA鉦区 ジャパン石油開発



- ウムシャイフ/ローワーザクム
 - 当社権益比率: 12.0%(オペレーター: ADMA-OPCO*)
 - アッパーザクム/ウムアダルク/サター
 - 当社権益比率:
アッパーザクム/ウムアダルク 12.0%
サター 40.0%(オペレーター: ZADCO*)
- *アブダビ国営石油会社とJODCOなどで設立した操業会社。JODCOから両社へそれぞれ12%を出資。
- 利権契約: 2018年まで(2006年3月の修正共同開発協定締結によりアッパーザクム油田の権益期限は2026年まで延長)
 - 生産量維持・拡大のため開発作業を継続中
 - 全油田で水圧入を実施
 - ウムシャイフ/ローワーザクムでガス圧入を実施

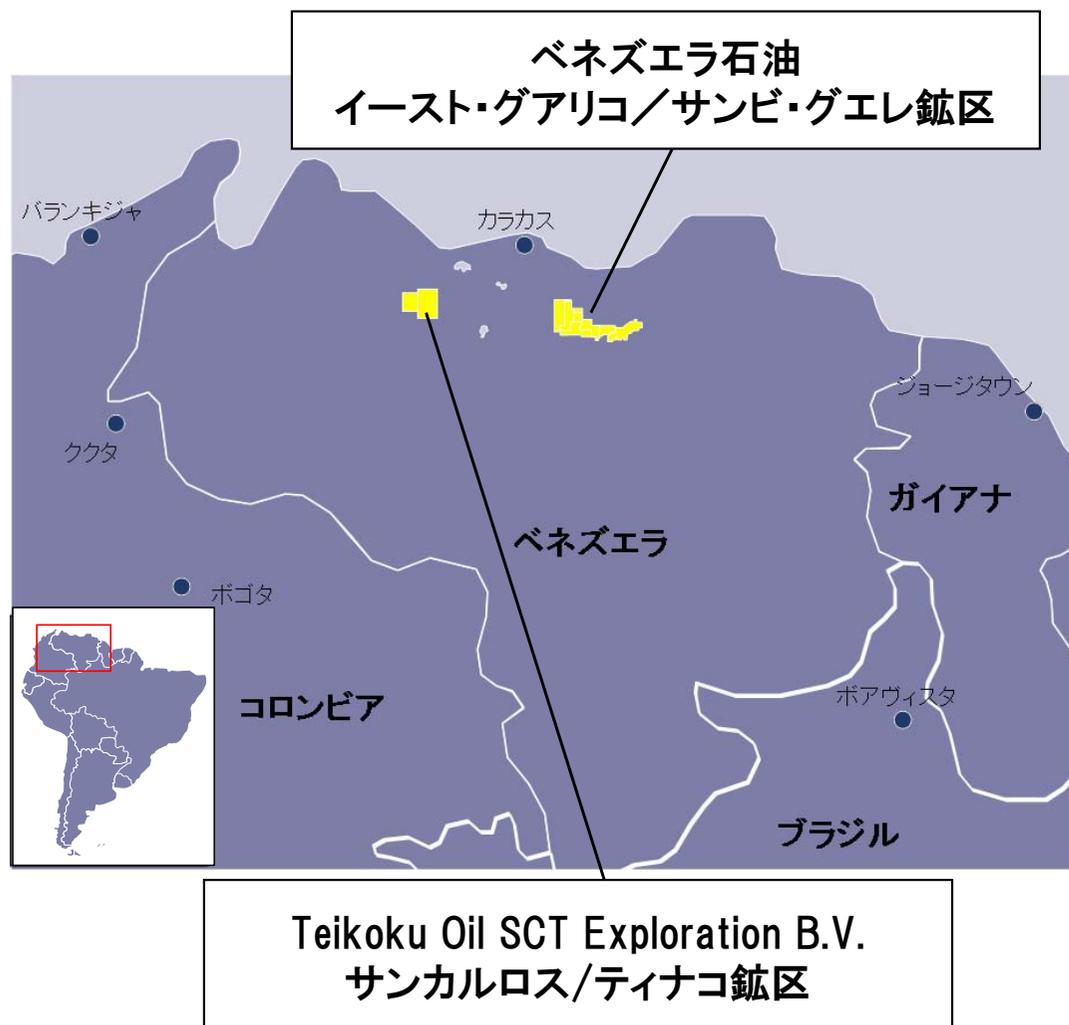
アザデガン油田 アザデガン石油開発



- 当社権益比率: 75.0%
- 目標生産量*: 日量約150,000バレル(開発第1段階)
- 当社はオペレーターとして参画
- サービス契約(バイバック契約)
- 油田開発プロジェクトは2段階
 - 開発第1段階として2008～09年に日量15万バレルの生産を達成を目標とする
 - 開発第2段階へ移行した場合、2013～14年に日量11万バレルの追加生産、合計日量26万バレルの生産に達する見込み。

ベネズエラ プロジェクト

ベネズエラ石油



イースト・グアリコ/サンビ・グエレ鉱区

- 油ガス田再生化および探鉱・開発事業
- 操業サービス契約*
 - イースト・グアリコ:1992-2012年
 - サンビ・グエレ:1993-2013年
- 権益比率:100%(オペレーター)
- 生産量**
 - 原油(含コンデンセート):日量約3,600バレル
 - ガス:日量約82百万立方フィート

サンカルロス/ティナコ鉱区

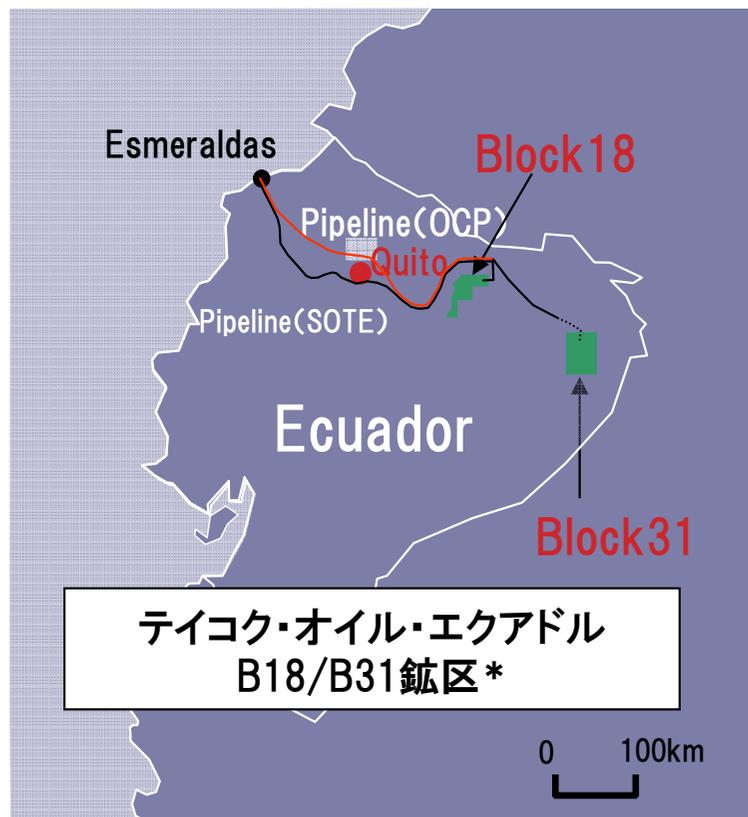
- ガス探鉱・開発事業
- 権益比率:50%
(オペレータ:ペトロブラス社)

* 現在、JV契約への移行につき同国国営石油会社と協議中

** 2鉱区合算、全鉱区ベース2006年3月平均日産量

エクアドル プロジェクト

テイコク・オイル・エクアドル



B18鉱区

- 原油探鉱・開発事業
- 利権契約(2002-2022年)
- 権益比率:40%(オペレーター:ペトロブラス社)
- 生産量** :日量約33,400バレル
- 追加開発作業中

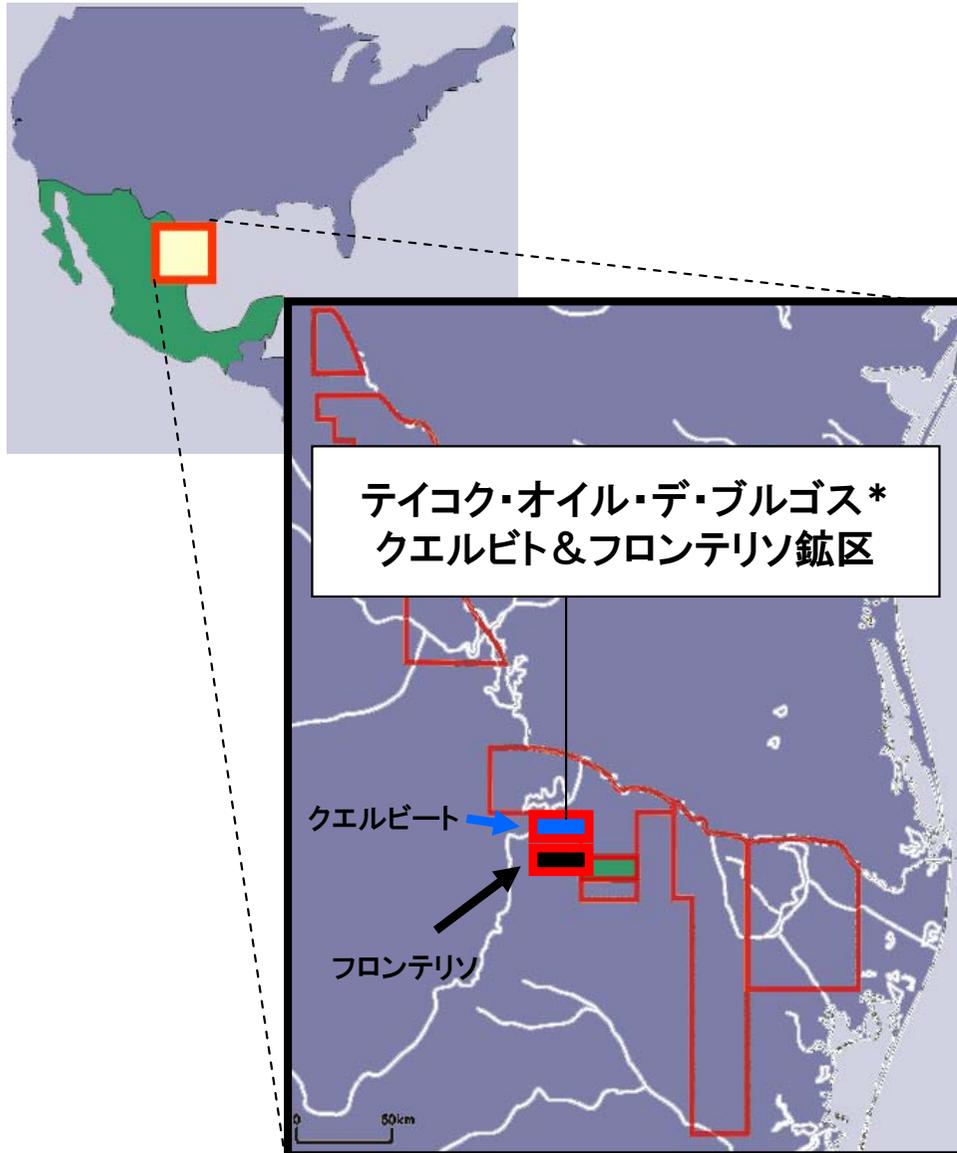
B31鉱区

- 原油探鉱・開発事業
- 利権契約(2004-2024年)
- 権益比率:40%(オペレーター:ペトロブラス社)
- 開発作業中

*権益移転に係る政府承認手続中であり、当該契約は政府承認を得た後、正式に発効する予定であります。

** 全鉱区ベース2006年3月平均日産量

メキシコ プロジェクト



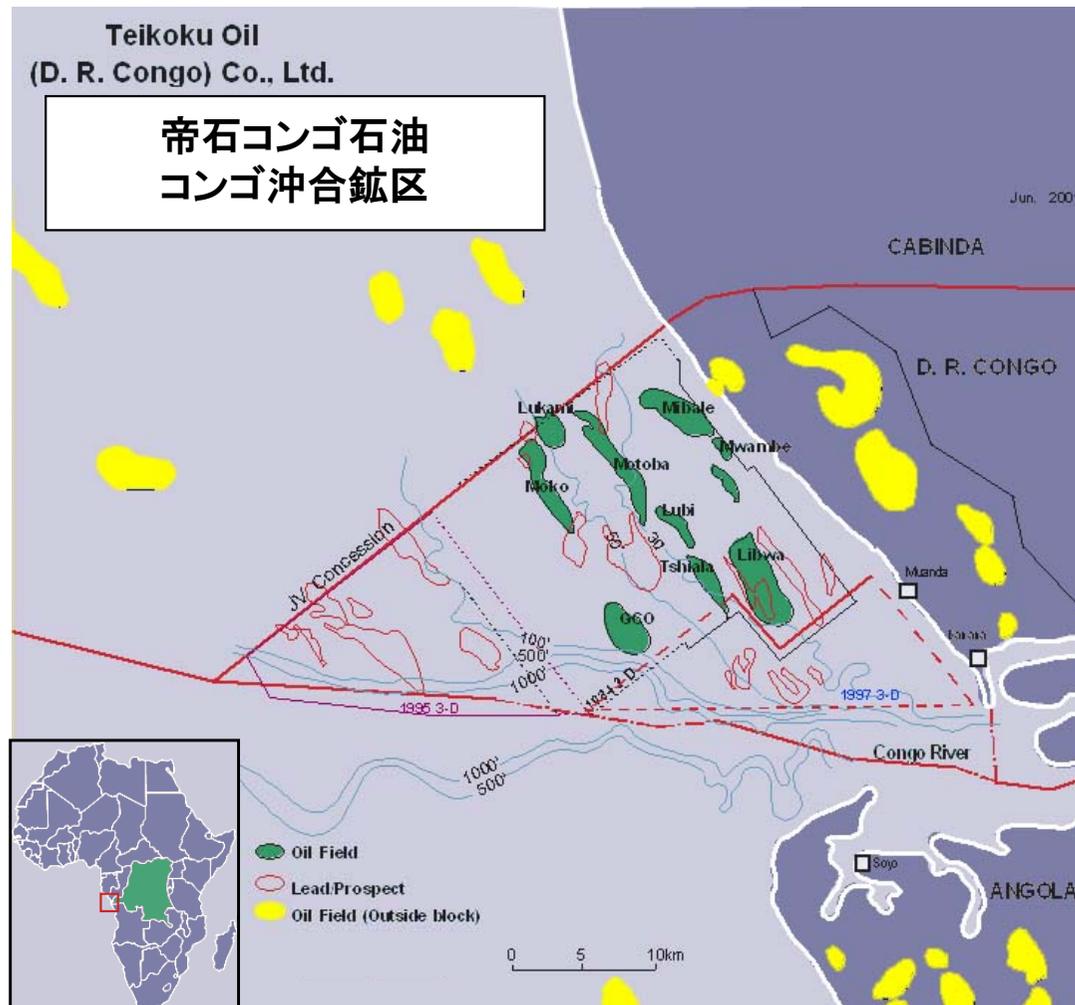
クエルビート&フロンテリソ鉱区

- ガス開発事業
- サービス契約(2004年1月契約発効)
- 権益比率:40%
(オペレーター:ペトロブラス社)
- 生産量** :日量約28百万立方フィート

* 当社株主シェア75%

** 全鉱区ベース2006年3月平均日産量

コンゴ プロジェクト 帝石コンゴ石油

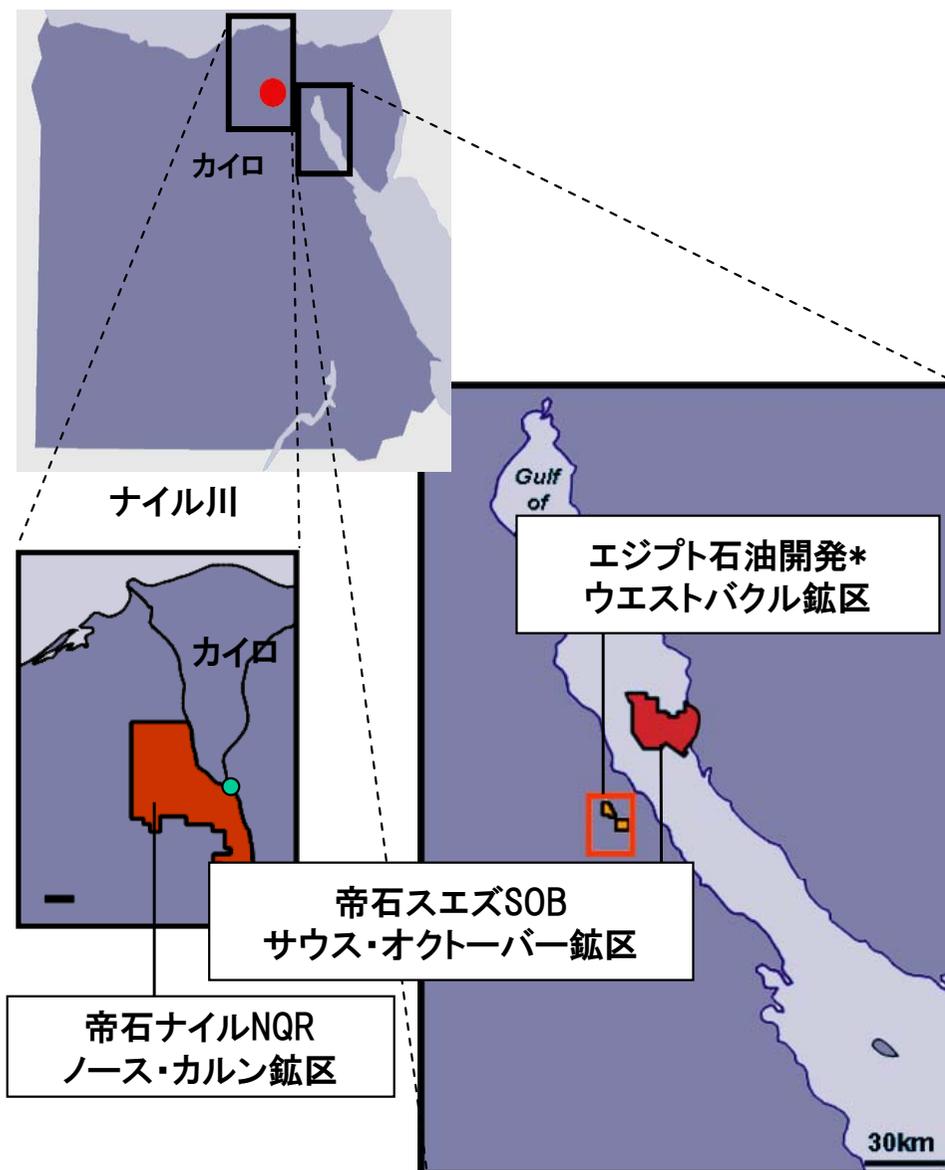


コンゴ沖合鉱区

- 原油探鉱・開発事業
- 利権契約(1969-2023年)
- 権益比率:32.28%
(オペレーター:ペレンコ社)
- 生産開始:1975年
- 生産量*: 日量約14,800バレル

* 全鉱区ベース2006年3月平均日産量

エジプト プロジェクト エジプト石油開発ほか



ウエストバクル鉱区

- 原油探鉱・開発事業
- PS契約: 鉱区期限延長契約調印(2005年7月)
— 2010年 → 2020年+5年延長オプション
- 権益比率: 100%(オペレーター)
- 生産開始: 1980年
- 生産量**: 日量約5,200バレル

サウス・オクトーバー鉱区

- 原油探鉱事業(2005年8月PS契約発効)
- 権益比率: 35%(オペレーター: デボン社)
- 義務作業(3年): 3D地震探査(270 km²)、試掘2坑

ノース・カルン鉱区

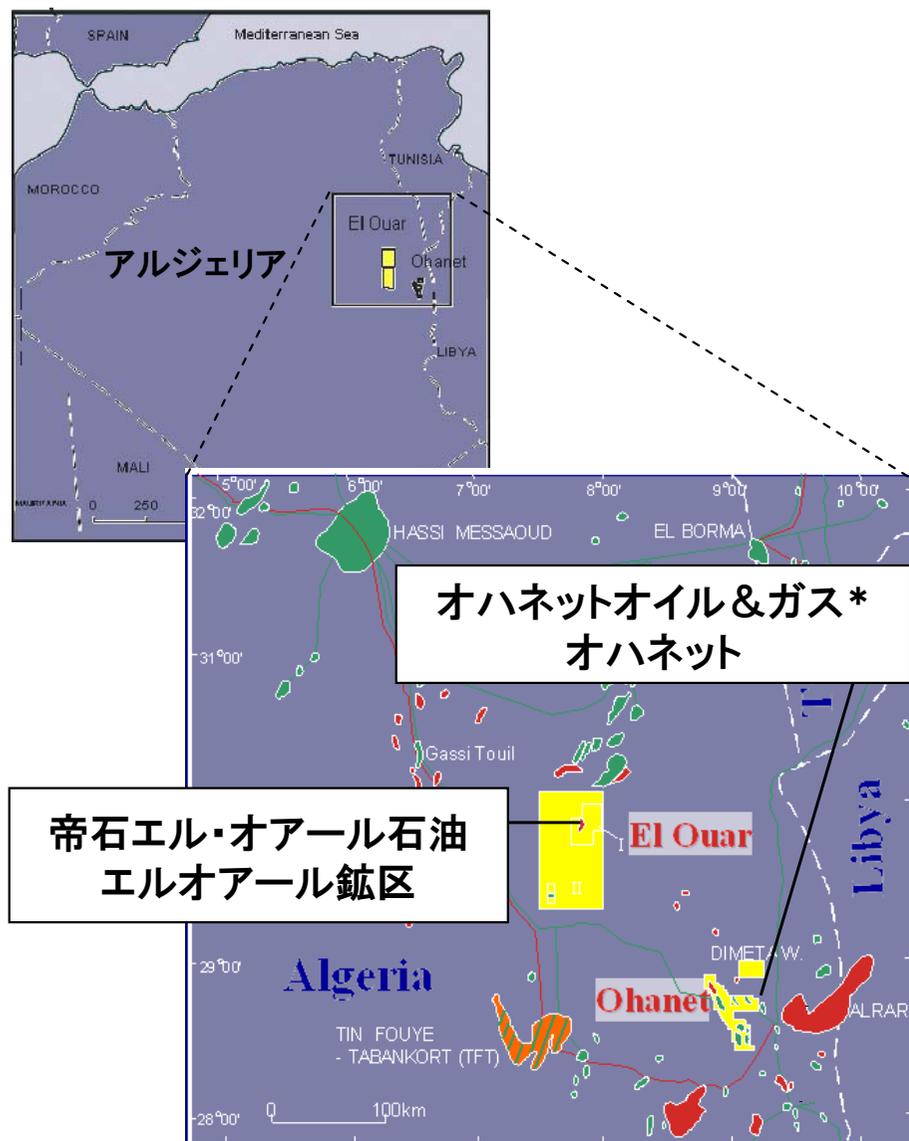
- 原油探鉱事業(2005年8月PS契約発効)
- 権益比率: 25%(オペレーター: デボン社)
- 義務作業(3.5年): 2D地震探査(550km)、試掘1坑

* 当社株主シェア45.73%

** 全鉱区ベース2006年3月平均日産量

アルジェリア プロジェクト

オハネットオイルアンドガス(オハネット鉱区)
帝石エル・オアール石油(エル・オアール鉱区)



オハネット

- ガス開発事業
- リスクサービス契約(2000-2011年)
- 権益比率:30%(オペレーター:BHPB社)
- 生産開始:2003年10月
- 生産量**
 - ドライガス:日量約516百万立方フィート
 - コンデンセート:日量約27,200バレル
 - LPG:日量約2,100トン

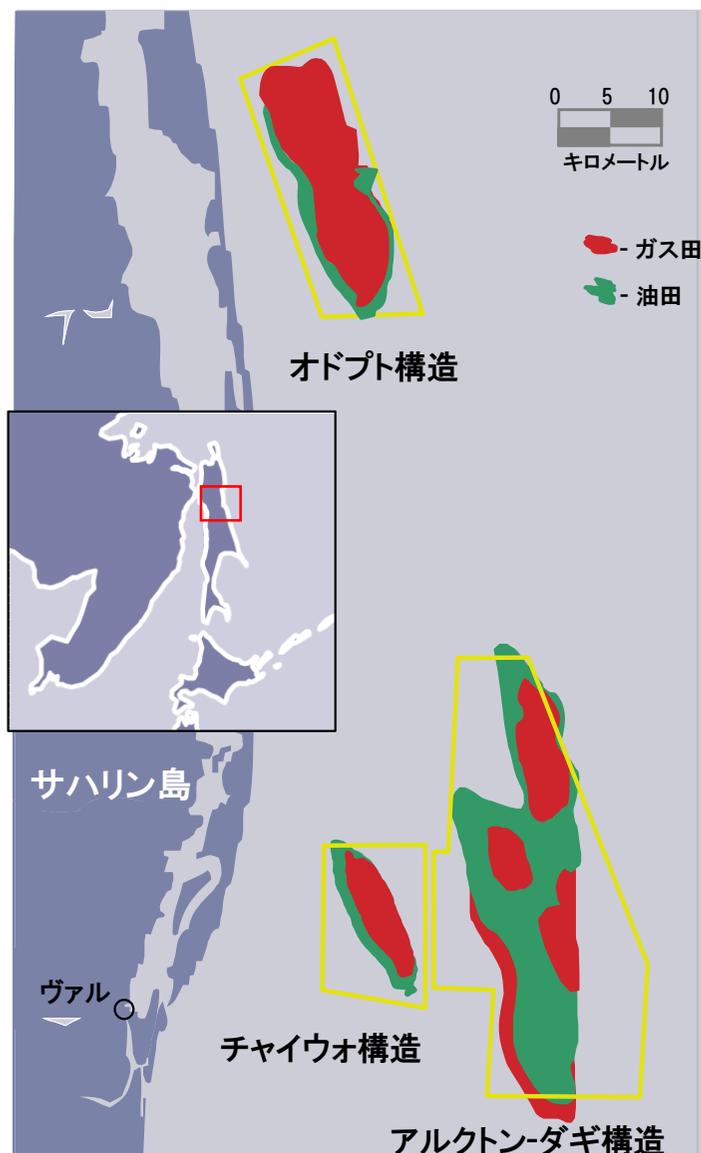
エル・オアール鉱区

- 油ガス探鉱・開発事業
- 利権契約
- 周辺鉱区との共同開発を含めたガス・コンデンセート田の開発移行につき検討中
- 権益比率:15.43%(オペレーター:ENI社)

* 当社株主シェア15%

** 全鉱区ベース2006年3月平均日産量

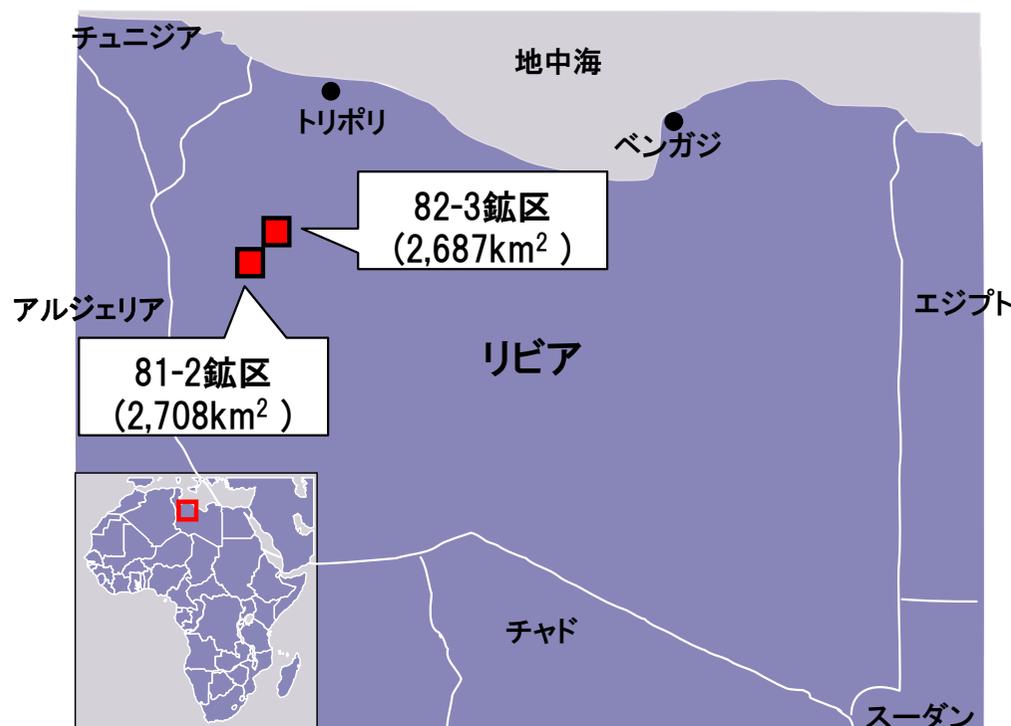
サハリン I プロジェクト サハリン石油ガス開発



- サハリン石油ガス開発(SODECO):
当社グループが5.75%の株式を保有
(石油公団が保有していた50%の株式は経済産業大臣が承継し、当社は諸条件が整えば、最大33%まで取得する方向で調整中)
- SODECOの権益比率
— サハリン I: 30.0%
- オペレーター: ExxonMobil
- パートナー: ONGCヴィデッシュ、サハリンモルネフテガス・シェルフ、RNアストラ
- PS契約: 2001年12月、プロジェクトの「商業性宣言」がロシア政府より承認され、20年間の開発期間に移行
- 2005年10月生産開始、本格生産は2006年の予定(フェーズ1)
- 日本、中国等の市場への国際パイプラインによる天然ガス供給(フェーズ2)を前提としてマーケティング活動中

新規獲得鉱区 リビア 81-2&82-3鉱区

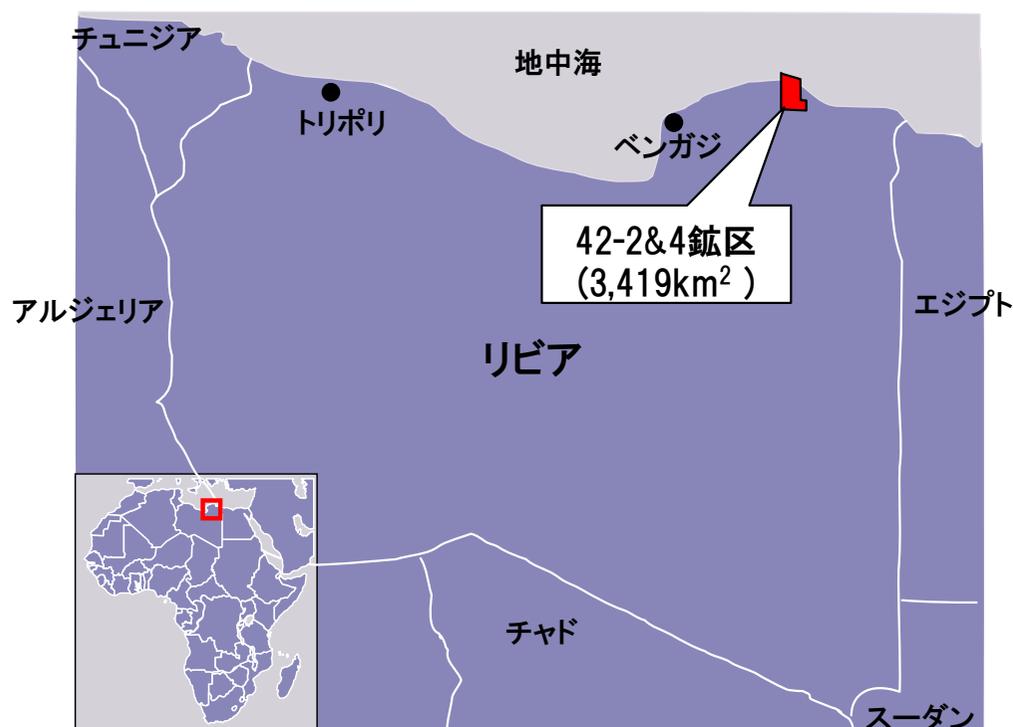
Teikoku Oil Libya UK Ltd



- 原油探鉱事業
- 探鉱生産物分与契約(Exploration and Production Sharing Agreement : EPSA)
- 2005年12月6日調印、12月10日契約発効
- 当社権益比率:73%(オペレーター)
- 現在、震探取得に向けた準備作業実施中

新規獲得鉱区 リビア 42-2&4鉱区

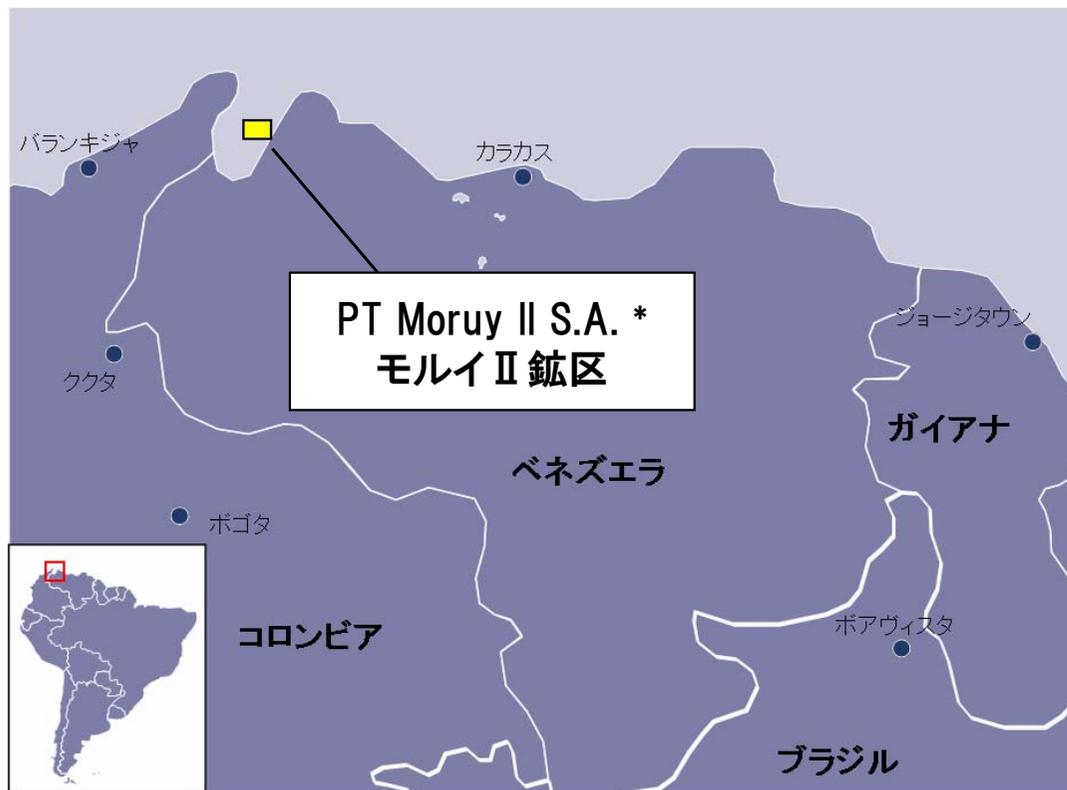
インペックスリビア石油



- 2005年10月2日 フランスTOTAL社と共同でリビア北東部の42-2&4鉱区を落札
- 2005年10月17日 同社は国際石油開発(株)の全額出資により設立
- 2005年12月10日契約発効(探鉱期間5年間)
- 当社権益比率:40%(オペレーター:TOTAL)
- 探鉱生産分与契約(Exploration and Production Sharing Agreement :EPSA)
- 義務作業:2D地震探鉱2500km、試掘1坑
- 2006年夏以降地震探鉱作業を実施予定

新規獲得鉱区 ベネズエラ モルイⅡ 鉱区

PT Moruy II S.A.

モルイⅡ 鉱区

- ガスライセンス契約に基づくガス探鉱事業
- 2006年1月、ライセンス付与
- 当社権益比率:50%
(オペレーター:ペトロブラス社)
- 現在、震探取得に向けた準備作業実施中

* ペトロブラス社と当社50:50の共同出資によるJV

グループ主要出資先会社

会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	出資比率	ステージ
日本				
帝国石油	南長岡ほか*	日本	—	生産中
東南アジア/オセアニア				
国際石油開発(INPEX)	マハカム沖鉱区	インドネシア	—	生産中
ナトゥナ石油	南ナトゥナ海B鉱区	インドネシア	100%	生産中
MI Berau B.V.	ベラウ鉱区(タンゲーLNG)	インドネシア	44%	開発中
インペックスマセラアラフラ海石油	マセラ鉱区(アバディ)*	インドネシア	52%	開発検討中
サウル石油	バユ・ウンダン	チモール海共同開発地域	100%	生産中
インペックス西豪州ブラウズ石油	WA-285-P鉱区(イクシス)*	オーストラリア	100%	開発検討中
中東				
ジャパン石油開発	ADMA鉱区(アッパ-ザクム油田等)	アラブ首長国連邦	100%	生産中
アザデガン石油開発	アザデガン油田*	イラン	100%	開発中
カスピ海沿岸				
インペックス南西カスピ海石油	ACG油田	アゼルバイジャン	51%	生産中
インペックス北カスピ海石油	カシャガン油田	カザフスタン	45%	開発中
中南米				
ベネズエラ石油	イースト・グアリコ* / サンビ・グエレ鉱区*	ベネズエラ	100%	生産中
テイコク・オイル・エクアドル	B18** / B31鉱区**	エクアドル	100%	生産中(B31:開発中)
テイコク・オイル・デ・ブルゴス	クエルビト / フロンテリソ	メキシコ	75%	生産中
アフリカ				
帝石コンゴ石油	コンゴ沖鉱区	コンゴ	100%	生産中
エジプト石油開発	ウエスト・バクル鉱区*	エジプト	45.7%	生産中
オハネットオイルアンドガス	オハネット鉱区	アルジェリア	15%	生産中
帝石エル・オアール石油	エル・オアール I / II 鉱区	アルジェリア	100%	開発検討中

注: *オペレータープロジェクト

**権益移転に係る政府承認手続中であり、当該契約は政府承認を得た後、正式に発効する予定であります。

主な石油契約の概要①

鉱区	国・地域	石油契約
マハカム沖／アタカユニット	インドネシア	PS契約
南ナトウナ海B	インドネシア	PS契約
ベラウ(タンゲー)	インドネシア	PS契約
マセラ(アバディ)	インドネシア	PS契約
JPDA03-12(バユ・ウンダン)	チモール海共同石油開発地域	PS契約
WA-10-L(グリフィン油田群)	オーストラリア	コンセッション契約
WA-285-P(イクシス)	オーストラリア	コンセッション契約
北カスピ海沖合(カシャガン他)	カザフスタン	PS契約
ACG油田	アゼルバイジャン	PS契約
ウムシャイフ／ローワーザクム／ アッパーザクム油田等	アラブ首長国連邦	コンセッション契約
アザデガン油田	イラン	サービス契約

主な石油契約の概要②

鉱区	国・地域	石油契約
イースト・グアリコ／サンビ・グエレ	ベネズエラ	サービス契約*
B18**／B31**	エクアドル	コンセッション契約
クエルビト&フロンテリソ	メキシコ	サービス契約
コンゴ沖	コンゴ	コンセッション契約
ウエスト・バクル	エジプト	PS契約
オハネット	アルジェリア	リスクサービス契約***
エル・オアール I / II	アルジェリア	コンセッション契約

*ジョイントベンチャー契約へ移行予定

**権益移転に係る政府承認手続中であり、当該契約は政府承認を得た後、正式に発効する予定であります。

***リスク付き開発請負契約

その他

生産分与契約



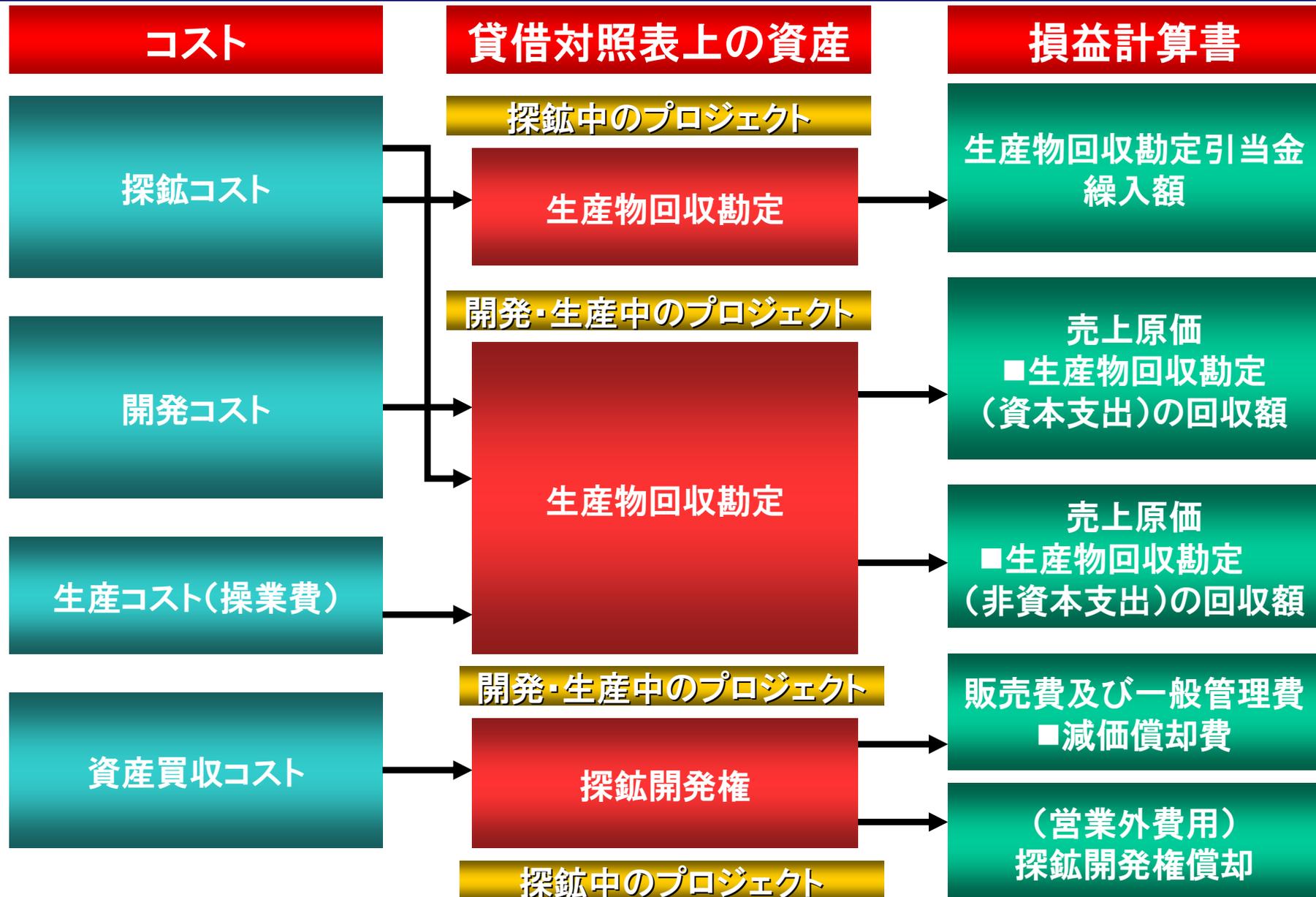
1. 作業費回収額
- 非資本支出の当該期回収額
 - 資本支出の当該期回収額
 - 前期以前に発生し回収されなかったコスト

2. 利益配分原油

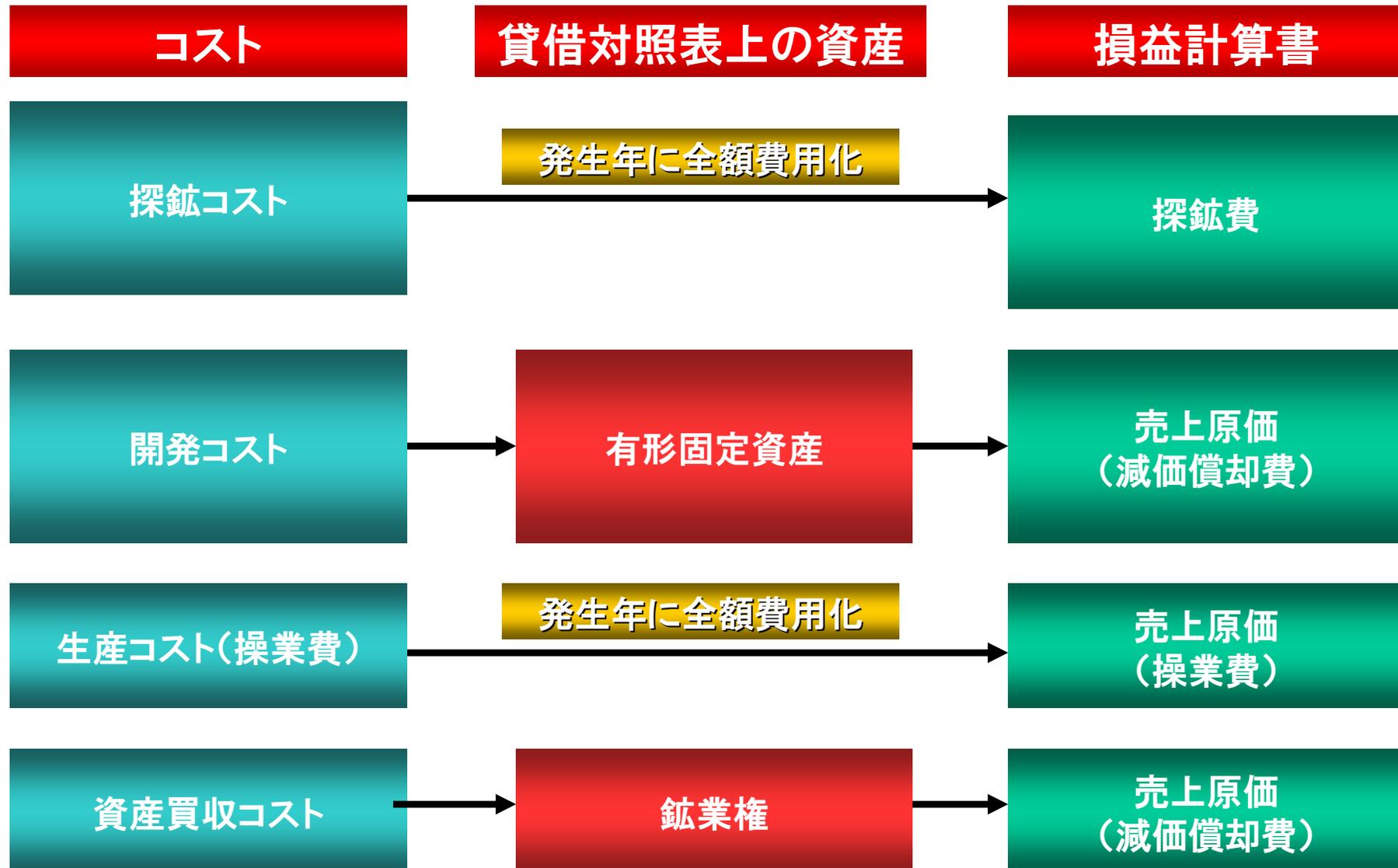


- : 産油国取分
 - : 課税対象
 - : 課税対象ではない
- } コントラクター取分

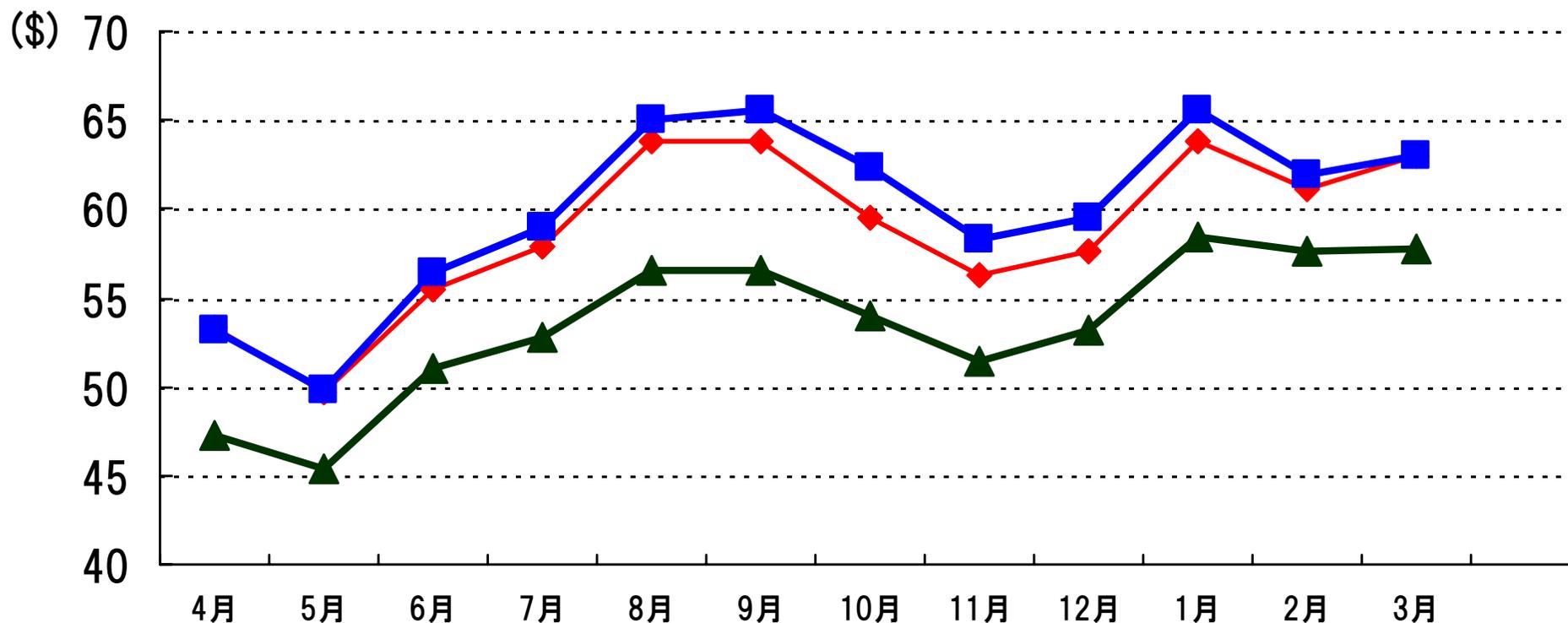
生産分与契約に係る会計処理



コンセッション契約に係る会計処理



油価の推移



2005年 ◆ Brent ■ WTI ▲ Dubai 2006年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
Brent	53.31	49.67	55.42	57.95	63.80	63.80	59.50	56.23	57.63	63.86	61.14	63.03	58.78
WTI	53.22	49.87	56.42	59.03	64.99	65.55	62.27	58.34	59.45	65.54	61.93	62.97	59.96
Dubai	47.20	45.40	51.08	52.83	56.60	56.54	53.96	51.39	53.20	58.44	57.61	57.82	53.50

*BrentはIPE、WTIはNYMEX、DubaiはPlatt'sのデータ。

JODCOの財務条件変更

- 2004年1月から上部ザクム油田の税金等の財務条件の優遇措置は段階的に廃止
- 2006年1月からは完全に廃止
- 優遇措置の段階的な廃止による今期業績への影響は、前期と同様の優遇措置を受けていた場合に比べ、売上高は影響を受けませんが、当期純利益は減少
- 5油田のうち、ウムシャイフ/下部ザクム油田は、参加当時より優遇措置を受けていない
- ウムアダルク・サター油田は変更なく、油価に連動し、売上高・当期純利益が変動